

**平成 30 年 度**  
(2018年度)

# **業 務 年 報**

大分県農林水産研究指導センター

# 平成30年度(2018年度)業務年報

## 目 次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織	1
2	試験研究課題の重点化と評価の徹底	2
3	情報発信機能の強化	6
4	試験研究機関の連携推進	8
5	研究員の資質向上	8
6	知的財産権の取得状況	13
7	九州大学との連携	13
8	受賞、学位取得の状況	14
9	主要な行事・会議等	15
10	各所属の業務・試験研究	15
11	予算概要	16
II	研究部・グループの概要	18
1	農業研究部	18
2	水田農業グループ	26
3	果樹グループ	31
4	花きグループ	37
5	畜産研究部	41
6	林業研究部	47
7	きのこグループ	52
8	水産研究部（浅海・内水面グループ含む）	59
	農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先	65

# I 大分県農林水産研究指導センターの概要

## 1. 農林水産研究指導センターの組織

平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及をめざして研究指導体制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。また、環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入した。組織全体を統括するため、センター長、管理調整監、研究企画監、総務予算担当、研究企画担当を豊後大野市に配置した。

平成23年4月に宇佐市から農業研究部の「土壌・環境チーム」と「病害虫チーム」を、6月には「イチゴチーム」を豊後大野市に移転した。また、平成25年4月より、農業研究部の「ネギ類チーム」を、「ネギ・イモ類チーム」に、畜産研究部の「豊後牛改良チーム」を、「肉用牛改良肥育チーム」に、「肉用牛・酪農チーム」を、「肉用牛繁殖・酪農チーム」に名称変更した。さらに、畜産研究部の家畜伝染病防疫体制強化を図るため、新たに種雄牛舎を建設し、「種雄牛チーム」を新設した。

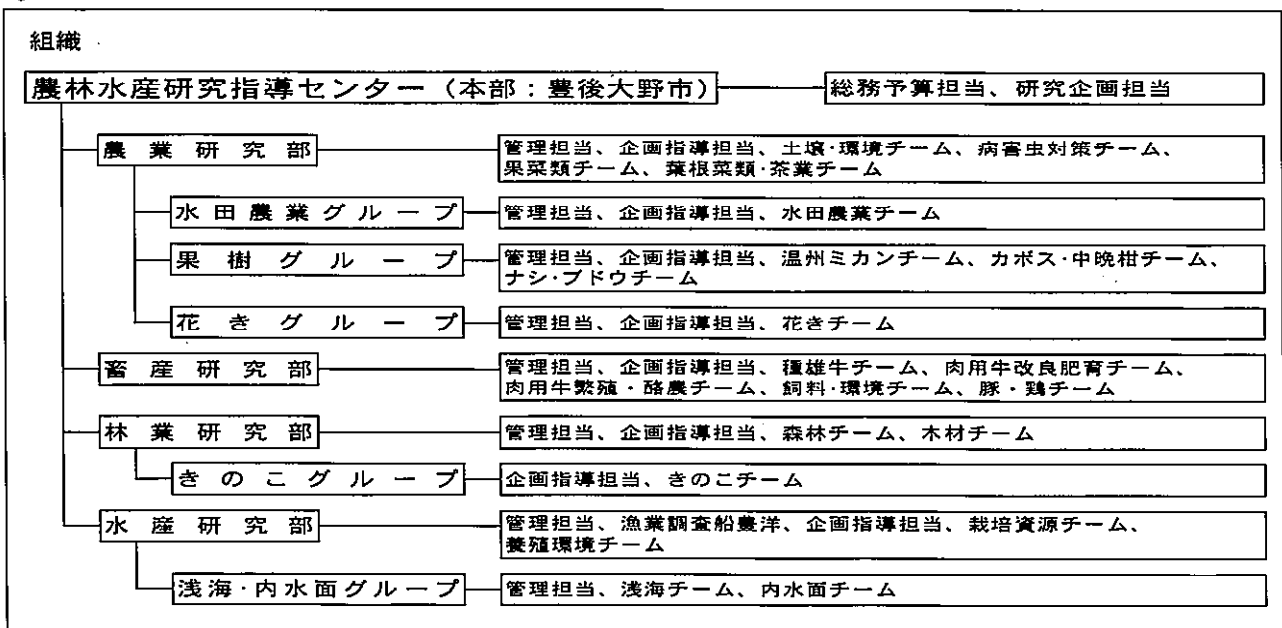
平成28年3月に「大分県農林水産試験研究基本指針」を作成し、「変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う」ことを基本理念として、成果の活用先(ターゲット)を明確にして経済性を重視した研究開発を行い、農林水産業の創出額増加に寄与することとした。

平成28年4月に、農業研究部の「病害虫チーム」を「病害虫対策チーム」に、「イチゴチーム」と「トマト・ピーマンチーム」を「果菜類チーム」に、「ネギ・イモ類チーム」と「茶業チーム」を「葉根菜類・茶業チーム」に、水田農業グループの「作物品種チーム」と「作物栽培チーム」を「水田農業チーム」に組織改正を行い、試験研究の効率化を図った。

今後も引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ指導、技術実証を行うなど、普及指導体制の強化に取り組むこととしている。

なお、豊後大野市のセンター本部では、試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、共同研究調整、知的財産取得・活用、課題評価・成果公表、研究員の資質向上、産学官交流・連携促進などの業務を行う。

農林水産研究指導センター各場所別職員配置表



平成30年4月1日現在

機関	事務吏員	技術吏員					技能職員 事務補佐	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	3		7			7		10
農業研究部	5	34	1	3		38	7	50
水田農業グループ	3	9	1	1		11	6	20
果樹グループ	1	14	1	2		17	5	23
花きグループ	1	8	1			9	4	14
畜産研究部	5	22	2	2		26	22	53
林業研究部	2	12	1	1		14	1	17
きのこグループ		6		2		8	1	9
水産研究部	3	16	1		7	24		27
浅海・内水面グループ	1	11	1			12		13
合計	24	132	16	11	7	166	46	236

## 2. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

試験研究を効率的に実施するため、課題数を概ね100課題に厳選し、さらに試験研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間以内としている。

また、現場ニーズを広く収集し、農林水産業の振興や県民生活の向上などに資する試験研究を行うために、ホームページや文書などで一般県民や生産者、関係団体などに試験研究課題に対する要望調査を行い、関係者等から130件の要望を収集した。

研究課題の設定にあたっては、収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定のうえ事前評価（部門別評価及び全体評価）を行い、さらに研究課題が決まった後には試験研究進行管理と事後評価（結果検討）を行った。なお、評価結果はホームページにて公表した。

### (1) 事前評価

#### 1) 試験研究課題調整会議

収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定するため、各所属単位で開催し、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性など全ての観点から、開発しようとする技術の内容や手法を精査し、次年度に向けた課題実施の適否について判断した。

#### 2) 試験研究課題検討会

課題調整会議で絞り込んだ要望課題に対して、現場ニーズに合致した試験研究計画とするため、各所属単位で開催し、研究員、関係課・室、普及指導員、生産者代表等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

#### 3) 部門別評価会議：7月18日～19日

試験研究課題にかかる県庁関係課・室班総括、振興局の関係する班総括及び生産者団体の役職員を部門別評価者とする試験研究部門別評価会議により、「政策的妥当性」及び「試験研究開発効果」について評価を受けた。

#### 4) 全体評価会議：8月29日

外部評価委員会（有識者、学識経験者、流通関係者、生産者代表）及び企画評価会議（部局横断的な視点から農林水産関係試験研究の企画戦略面での提言・助言を行う者）をもって構成する全体評価会議により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的効果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

平成30年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分野	委員名	役職等	選定理由等
経済界・学識	ふくやま きみひろ 福山 公博	(株)日本政策投資銀行大分事務所長	地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
	もとや くるり 本谷 くるり	大分大学 経済学部教授 (経営組織論)	一次産業の経営戦略的な観点から研究課題の妥当性について評価が期待できる。
流通関係者	ながお きくお 長尾 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員部長	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	ふくやま ひろひさ 福山 博久	イオン九州(株) 九州商品開発部 農産グループマネージャー	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	ふじさわ まさのり 藤澤 政則	大分一村一品(株) 前代表取締役社長	県内におけるマーケティングに携わる最前線の立場から技術開発の必要性等について評価が期待できる。
生産者代表	おおくぼ つとむ 大窪 勉	小ネギ生産者	葱屋おおくぼ(有) 代表取締役 大分"味-ねぎ"生産部会副部会長 大分県農業法人協会会員
	こんどう かずよし 近藤 和義	肉用牛経営者	並柳牧場牧場長 県議、大分県畜産協会会長 おおいた森林組合長
	たじま しんたろう 田島 信太郎	林業経営者	田島山業(株) 代表取締役 日本林業経営者協会理事 NPO法人森づくりフォーラム理事
	わたなべ ひでとし 渡邊 英敏	小型底曳網漁業者	大分海区漁業調整委員会委員 大分県漁業士連絡協議会会長 大分県漁協宇佐支店底曳網協議会会長

(平成30年4月1日現在)

5) 平成31年度研究課題の決定

部門別評価で総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題については、次の全体評価に進むことができる(この時点で60点未満のものについては全体評価対象課題から除外となる)。今回、部門別評価を受けた新規候補課題数は22課題であり、すべての課題は総合得点が60点以上であり、全体評価の対象課題となった。

全体評価では、総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題を平成31年度予算要求課題候補にすることとしており、今回、全体評価を受けた22課題はすべて総合得点が60点以上であった。

6) 推進本部会議による承認：9月4日

農林水産部長、審議監、関係課・室長、農業大学校長から構成される推進本部会議を開催し、全22課題について、平成31年度予算要求候補課題として承認された。

(2) 事後評価(試験研究結果の検討)

現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、各所属で試験研究終了の翌年度に試験研究結果検討会を開催し、研究目標等に対する達成状況について検証した。

(3) 農林水産試験研究アドバイザー

各所属の内部会議等に招集するなど、大学や独立研究開発法人(国研)等の研究者や部門別な知識・経験を有する有識者などのアドバイザーから、新規研究課題に関して専門分野の技術的アドバイスを受けた。

大分県農林水産試験研究アドバイザー(平成30(2018)年4月1日～平成30(2018)年9月30日)

部門	所 属 名	職 名	氏 名
土壌・環境	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座	教授	平舘 俊太郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古賀 伸久
病害虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山中 正博
野菜	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	山崎 篤
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室	農業技術 コミュニケーター	杉本 光穂
茶業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉田 克志
水田農業	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	教 授	望月 俊宏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中野 洋
	三和酒類株式会社 取締役 統轄部長	取締役	高下 秀春
果樹	国立大学法人 鹿児島大学 産学・地域共創センター	特任教授	冨永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根角 博久
	国立大学法人 鳥取大学 農学部	教授 農学部長	田村 文男
花き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今村 仁
	東海大学 農学部	名誉教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産	国立大学法人 広島大学 大学院生物圏科学研究科	教授 博士(獣医学)	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授 博士(農学)	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長 博士(農学)	服部 育男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長 博士(農学)	竹之内 直樹
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 サステナブル資源科学講座	准 教 授	藤本 登留
きのこ	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 森林環境科学講座	教 授	大賀 祥治
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
水産	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所 まぐろ増養殖研究センター 種苗量産グループ	主任研究員	森岡 泰三
	高知大学 海洋生物生産学コース 水族栄養学研究室	准教授	深田 陽久
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 生物機能科学部門	准教授	島崎 洋平
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教 授	村瀬 昇

農研機構10名、森林機構3名、水研機構2名、大学12名、その他3名 合計30名

## 大分県農林水産試験研究アドバイザー(平成30(2018)年10月1日～平成31(2019)年3月31日)

部門	所属名	職名	氏名
土壌・環境	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座	教授	平舘 俊太郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古賀 伸久
病害虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山中 正博
野菜	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	山崎 篤
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室	農業技術 コミュニケーター	杉本 光穂
茶業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉田 克志
水田農業	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	助教	安彦 友美
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中野 洋
	三和酒類株式会社 取締役 統轄部長	取締役	高下 秀春
果樹	国立大学法人 鹿児島大学 産学・地域共創センター	特任教授	冨永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根角 博久
	国立大学法人 鳥取大学農学部	教授 農学部長	田村 文男
花き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今村 仁
	東海大学 農学部	名誉教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産	国立大学法人 広島大学 大学院生物圏科学研究科	教授 博士(獣医学)	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授 博士(農学)	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長 博士(農学)	服部 育男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長 博士(農学)	竹之内 直樹
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 サステナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留
きのこ	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 森林環境科学講座	教授	大賀 祥治
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
水産	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所 まぐろ増養殖研究センター 種苗量産グループ	主任研究員	森岡 泰三
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇
	国立大学法人 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 環境科学領域	教授	井口 恵一朗

農研機構10名、森林機構3名、水研機構2名、大学11名、その他3名 合計29名

### 3. 情報発信機能の強化

#### (1) 研究Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに月1回のペースで掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

vol.	公表日	所属	タイトル
75	2018年(平成30年)4月26日	水産研究部	ブリ類のハダムシ症に対するDNAワクチンの開発
76	2018年(平成30年)5月15日	農業研究部	根深ネギのシロイチモジヨトウの薬剤感受性実態
77	2018年(平成30年)6月6日	畜産研究部	と畜場由来の卵子と雌判別精液を用いた乳用種後継牛の生産
78	2018年(平成30年)7月26日	果樹グループ	環境にやさしいミカンハダニの防除に取り組んでいます
79	2018年(平成30年)8月20日	農業研究部	業務加工用キャベツの4月どり用として有望な品種と定植時期を選定
80	2018年(平成30年)9月5日	畜産研究部	柔らかくてジューシー「おおいた冠地どりシャボン」の開発
81	2018年(平成30年)10月5日	林業研究部	県産スギ材は2×4工法建築物の枠組材として十分な強度があります
82	2018年(平成30年)11月19日	農業研究部	大分県イチゴ新品種「大分6号(商標名:ベリーツ)」の育苗期施肥法
83	2018年(平成30年)12月13日	水田農業グループ	県オリジナル焼酎用大麦「トヨノホシ」を育成し、栽培マニュアルを作成しました
84	2019年(平成31年)1月11日	畜産研究部	ゲノム育種価を活用した種雄牛造成
85	2019年(平成31年)2月7日	浅海・内水面グループ	カワウ被害の軽減をめざして
86	2019年(平成31年)3月12日	果樹グループ	カボスの種なし新品種「大分果研6号」登録出願!

#### (2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果(平成29年度年度までに成果が得られたもの)を「平成29年度普及カード」として生産者及び関係者向けに作成しホームページで情報提供を行った。

No.	所属	普及カードタイトル	試験研究課題名	試験年度	公開	資料	
1	農業研究部	焼酎粕濃縮液の活用について	地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立 ～普通作物・野菜における焼酎粕濃縮液の肥料成分 分利用技術の確立～	H27～H29	○		
2		冬春トマトでの統合環境制御による効果検証	「いつでも!大分産トマト」を目指した、省力・最速 栽培管理技術の確立	H26～H28	○		
3		オオバに発生するシソサビダニ及びモザイク 病の防除マニュアルの作成	シソサビダニが引き起こすオオバモザイク病および さび病防除体系確立	H27～H29	○		
4		秋冬作型における白ネギの萎凋病・白絹病 の防除体系	白ネギの萎凋病・白絹病の防除対策	H27～H29	○		
5		水田農業 グループ	大豆「フクユタカ」における早播・摘芯処理に よる安定栽培法	生育制御と雑草防除による大豆の高位 安定生産 技術の確立	H27～H29	○	
6		果樹 グループ	ポットサイズ増大による露地栽培ウシユウ ミカン苗の成長促進	2020年代のハウスミカンをリードする高収益栽培 技術の開発	H27～H29	○	
7		花き グループ	アルストロメリアの大麦焼酎粕施用	地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立	H27～29	○	
8			ホオズキのウイルス病対策	数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病 総合防除技術の構築	H27～29		○
9	畜産研究部	転戸スラグによる非アロフェン質黒ボク土の 酸性矯正	強酸性化草地の生産性回復技術の確立	H27～29	○		
10	林業研究部	ニホンジカの誘引技術に関する研究	ニホンジカの誘引技術等に関する研究	H28～H29	○		
11		大分県産スギ材の枠組壁工法用建築物へ の利用に向けて	枠組壁工法建築物への県産材利用に向けた研究	H26～H28	○		
12		きのこ グループ	ハラアコブカミキリの耕種的防除法	きのこ栽培における害虫類の生態解明と防除技術 の開発	H26～H28	○	
13	水産研究部	かぼす養殖魚の品質アップと新魚種開発	カボスがつなぐブランド魚創出事業	H27～H29	○		



(3) 刊行物等の発行

センターの取組を刊行物またはホームページにて広報した。

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	備考
試験研究成果2017	平成30年5月16日	2	HP掲載のみ	
平成29年度業務年報	平成30年5月25日	70	100	
研究Nowの歩み(2019年3月版)	平成31年3月13日	8	HP掲載のみ	

(4) 農林水産研究タイムリー情報

一定の成果が得られた報告(普及カードや研究Now等)以外の日常的な取組(トピックス等)を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載を平成29年8月から開始した。  
 なお、平成30年度の実績は以下のとおりである(計220件発信)。

農業130件(農業研究部47件、水田農業グループ25件、果樹グループ18件、花きグループ11件) 畜産 29件(畜産研究部29件) 林業 37件(林業研究部21件、きのこグループ16件) 水産 53件(水産研究部30件、浅海・内水面グループ23件)	※2019.3.31まで
---	--------------

(5) 農林水産研究指導センター研究状況報告会及び知事報告

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

年月日	場所	課題	主な聴講者
平成30年 8月2日	知事室 第一応接室	知事報告 ①ゲノム育種価を活用し高能力種雄6頭を造成 (畜産研究部 部長 佐藤文明)	知事、 部長、 センター長
平成30年 9月20日	県庁舎本館 91会議室	第1回研究状況報告会 ①地上型3Dレーザースキャナを用いた収穫予想表の改訂 (林業研究部 森林チーム 研究員 松本純) ②別府湾のシラス予報 (水産研究部 栽培資源チーム 研究員 竹尻浩平) ③3倍体カボス新品種「大分果研6号」の特性について (果樹グループ カボス・中晩柑チーム 専門研究員(TL) 橋原稔) ④ゲノム育種価を活用した種雄牛造成 ～大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証～ (畜産研究部 肉用牛改良肥育チーム 主幹研究員(TL) 飯田賢)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計58名)
平成30年 12月18日	県庁舎本館 91会議室	第2回研究状況報告会 ①「ベリーツ」の品種特性に応じた栽培技術の確立 (農業研究部 果菜類チーム 主任研究員 池永亜希子) ②収量・品質・栽培性に優れる醤油用小麦「中国168号」の特性について (水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 山本真梨子) ③弱毒ウイルスを利用したホオズキのウイルス病総合対策 (花きグループ 花きチーム 主任研究員 米田恵美) ④菌床シイタケ栽培における省エネルギー対策－夏期発生温度の検討－ (きのこグループ きのこチーム 主任研究員 彌田涼子) ⑤天然ヒジキの増殖マニュアルについて (浅海・内水面グループ 浅海チーム 主幹研究員 岩野英樹)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計63名)
平成31年 1月23日	知事室 第一応接室	知事報告 ①3倍体カボス新品種「大分果研6号」 (果樹グループ カボス・中晩柑チーム 専門研究員(TL) 橋原稔) ②天然ヒジキの増殖に関する研究 (浅海・内水面グループ 浅海チーム 主幹研究員 岩野英樹) ※上記の他に、農業普及関係の2課題が報告された。	知事、 部長、 センター長、 所属長、 関係課・室長他

#### 4. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関が総合的かつ有機的な連携を図るため、衛生環境研究センターと産業科学技術センターとで大分県試験研究機関連携会議を平成22年度に設置し、研究員の交流、意見・情報交換の推進、試験研究機器の相互有効活用の推進、研究の連携推進等を行っている。

なお、平成30年度の幹事機関は衛生環境研究センターであり、下記のとおり3センターの連携を深めた(平成31年度の幹事機関は産業科学技術センター)。

開催日	場所	内容
平成30年6月4日	衛生環境研究センター	本年度の活動体制・内容確認の打合せ会議
平成30年7月12日	衛生環境研究センター	平成30年度第1回大分県試験研究機関連携会議 (平成29年度事業報告、平成30年度事業計画)
平成30年12月17日	衛生環境研究センター	研究課題の連携に向けた意見交換会(ニーズ・シーズマッチング会議)、施設見学
平成31年3月5日	衛生環境研究センター	平成30年度第2回大分県試験研究機関連携会議 (平成30年度実施状況、課題連携状況、平成31年度計画等)

#### 5. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

##### (1) 短期派遣研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	主任研究員	田原 裕作	神戸国際会議場	兵庫県	平成30年 9月19日～20日 (2日間)	研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等のマネジメント能力の向上
農業研究部	主任研究員	神崎 悠梨	(国研) 農業・食品産業技術研究機構食品研究部門	茨城県	平成30年 7月9日～13日 (5日間)	トマト・ピーマンの栄養・機能性成分の季節変動の解明のための分析手法の習得
			日本分析化学会九州支部	福岡県	平成30年 8月9日～10日 (2日間)	農産物の栄養機能性成分分析のために用いるHPLCの操作手法を習得する。
農業研究部	研究員	藤谷 渉	日本分析化学会九州支部	福岡県	平成30年 8月9日～10日 (2日間)	農産物の栄養機能性成分分析のために用いるHPLCの操作手法を習得する。
水田農業グループ	研究員	柿原 千代文	(国研) 農業・食品産業技術研究機構筑波産学連携支援センター	茨城県	平成30年 10月1日～5日 (5日間)	農業生産における新技術の導入効果を経営評価する手法の習得
林業研究部	研究員	姫野 早和	(国研) 森林整備・研究機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場	熊本県	平成30年 6月4日～ 平成31年 2月20日 (うち10日間)	「生産林における持続的な林業経営の推進」に基づく次世代の森林づくりに向けたヒノキの優良品種の選抜等技術の習得
きのこグループ	主任研究員	彌田 涼子	(国研) 森林整備・研究機構森林総合研究所九州支所	熊本県	平成30年 7月25日～27日 (3日間)	DNA分析に関する基礎的な技術(DNA抽出方法、PCR、電気泳動)の習得
水産研究部	研究員	甲斐 桑梓	(公社) 日本水産資源保護協会	東京都	平成30年 11月26日～ 12月5日 (うち9日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース)
水産研究部	研究員	中里 礼大	(国研) 水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所	広島県	平成30年 11月12日～15日 (4日間)	有害・有毒プランクトンの採集・試料処理、保存方法、種の同定に関する講義と実習
浅海・内水面グループ	研究員	吉井 啓亮	(公社) 日本水産資源保護協会	東京都	平成30年 8月20日～31日 (12日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖衛生管理技術者養成 本科実習コース)
					平成30年 11月26日～ 12月5日 (うち10日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得(養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース)

## (2) 長期派遣研修

所属	職・氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員 野村 雄太	国立研究開発法人 農業・ 食品産業技術総合研究機 構 中央農業研究センター	茨城県 つくば市	平成30年11月1日～ 平成31年1月31日 (3か月間)	天敵製剤、バンカー植物、天敵温 存植物に関する試験研究を行う機 関で指導を受けながら研究、調査 の実施 IPMに活用できる最新技術の習得

## (3) 新規採用研究員研修

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.4.18	市町村会館 6階63会議室	8名 (うち新採研究員6名) (うち新採労務技師2名)	講演①「大分県農林水産業の現状と研究の役割について」 講師 農林水産研究指導センター 上野 通宏 センター長  講演②「農林水産研究指導センターの概要について」 講師 農林水産研究指導センター 田中 秀幸 研究企画監  講演③「研究員としての心構えについて」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問  質疑・意見交換

## (4) 現場体験研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修内容
農業研究部	研究員	藤谷 渉	農家 (野菜生産)	豊後大野市	平成30年11月12日～16 日、26日～30日(10日間)	・ミツバ栽培作業:定植や移植、J栽培パネ ルの洗浄、遮光カーテンの張り替え等 ・ミツバの出荷作業:洗浄、包装、梱包用の 段ボール箱作成及び保管庫の清掃等
農業研究部	研究員	小野 航平	農家 (野菜生産)	豊後大野市 臼杵市	平成30年7月10日～平成31 年2月28日(うち11日間)	・ミツバ:水洗い、包装・梱包作業、栽培ハウス での移植作業等 ・イチゴ:ランナー鉢受け・遮光ネットの片付 け等作業等
水田農業 グループ	研究員	安藤 広将	農事組合法人 (水稻・麦生産)	宇佐市	平成30年6月1日～6月22 日、10月8日～10日(うち5日 間)	イネ播種作業、乾田直播栽培補助、田植え 作業、甘藷収穫作業、稲刈り、ライスセン ターでの袋詰め作業
果樹グループ	研究員	佐藤 剛	農家 (ブドウ生産)	日田市	平成30年11月5日～20日(う ち12日間)	ハウスブドウ栽培におけるハウスの修繕
畜産研究部	研究員	鳥羽 菜摘	酪農家	竹田市	平成30年6月4日～8日(5日 間)	飼養管理(搾乳作業、ミルク給与、育成牛の 放牧、分娩)、削蹄、講習会・研修会への参 加、市場での出荷作業

## (5) 若手研究員研修

若手研究員に対して、本県の農林水産業を取り巻く情勢、他研究部・グループでの研究内容及び研究に対する心構え等について理解を深めるとともに、先輩研究員からの講演を通じ、若手研究員の意欲を高め、幅広い観点から試験研究遂行能力の向上を図るため研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.12.19	花きグループ 会議室	概ね35歳以下の 若手研究員等 40名	<p>テーマ「研究員の学位取得を通じたスキルアップ～女性研究員の体験を通じて～」</p> <p>講演①「子育てとスキルアップの両立をめざして」 講師 福岡県農林業総合試験場病害虫部 研究員 手柴 真弓 氏</p> <p>講演②「研究キャリアー(Career)の基板と継続」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問</p> <p>意見交換</p>

## (6) 中堅研究員研修

中堅研究員を対象に、民間企業や関係機関の方との意見交換を実施し、視野を広げ、試験研究企画及び自己開発能力の向上を目的に研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H31.3.13	きのこグループ 会議室	概ね35歳以上の 中堅研究員等 63名	<p>テーマ「大分県の農林水産試験研究の進むべき方向とは」</p> <p>講演①「技術職(研究職)の皆さんへ」 講師 農林水産研究指導センター 上野 通宏 センター長</p> <p>講演②「私が常に意識していたこと」 講師 農林水産研究指導センター農業研究部長 吉松 英明 氏</p> <p>講演③「私が行政施策を進めるうえで支えとなったこと」 講師 農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループ長 清原 誠二郎 氏</p> <p>講演④「しくじり先生風 自分史」 講師 農林水産研究指導センター水産研究部長 末吉 隆 氏</p>

## (7) チームリーダー研修

各研究部、グループのチームリーダー及び企画指導担当(総括)を対象に研究の企画・立案能力の向上を図り、リーダーとしての自覚を高めることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.8.2	大分市 「J:COMホルトホール大分」	チームリーダー及び 企画指導担当(総括)等 42名	<p>講演①「オーストラリアの農業研究開発に学ぶ」 講師 大分大学 経済学部 教授 大呂 興平 氏</p> <p>講演②「研究の方向性と倫理」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問</p>

## (8) マーケティング研修

国内外の農業の動向など幅広い情報とマーケット動向を的確に把握し、農林水産業をめぐる環境等の変化及び市場ニーズをしっかりとつかみ、将来を見据えた新たな発想を生み出す研究員の育成を図ることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.10.10	豊後大野市三重町菅生 「木質バイオマス発電所」 センター別館 第3会議室	研究員等30名	見学 説明「木質バイオマスによる発電及び電力卸売事業等について」 講師 株式会社エフオン豊後大野 総務グループ 佐藤 和義 氏  講義 講演「大分県における木質バイオマスの活用状況について」 講師 林産振興室 木材振興流通対策班 主査 中嶋 浩平 氏
H30.12.27	大分市豊海 「大分市公設卸売り市場」	研究員等22名	見学 説明「場内説明について」 講師 農林水産研究指導センター 田中秀幸 研究企画監  講義 講演「最近の野菜情勢について」 講師 丸果大分大同青果株式会社 取締役野菜部長 亀山 幸次 氏

## (9) プレゼンテーション研修

なし

## (10) 数理統計研修

試験研究を行っていく上で、基礎的かつ重要な数理統計について、農林水産試験研究における基礎的な手法の習得とあわせて、現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.12.5~ 12.7	県庁舎新館 OAプラザ	研究員等11名	「統計学概論」 講師 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 専門員 三中 信宏 氏

## (11) 知的財産研修

知的財産は新たな付加価値を創出し、ブランド化や産地間競争での優位性を高めるとともに、共同研究や競争的研究資金を獲得する上で有効なものである。

平成30年度は、下記研修に研究員等を派遣した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.8.24	大分市 「J:COMホルトホール大分」	研究員等6名	特許庁主催の知的財産権制度説明会(初心者向け)を活用し、知的財産権に関する知見を深めた。

## (12) はやしセミナー

農林水産研究指導センターの研究指導顧問である林浩昭氏がコーディネーターとなり、農業・畜産・林業・水産が抱える共通課題の解決や共通テーマの情報交換を実施し、研究員の資質向上を目的とした「はやしセミナー」を開催した。

## はやしセミナー(センター本部主催)

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.8.2	大分市 J:COMホルトホール大分	チームリーダー及び 企画指導担当(総括)等 42名	【第1回セミナー】(TL研修と併催) 講演①「オーストラリアの農業研究開発に学ぶ」 講師 大分大学 経済学部 教授 大呂 興平 氏 講演②「研究の方向性と倫理」 講師 農林水産研究指導センター 林 浩昭 研究指導顧問 意見交換
H30.10.18	センター別館 第3会議室	研究員等34名	【第2回セミナー】 テーマ「研究者における博士号取得について」 講演①「手段としての博士号」 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部果樹グループ温州ミカンチーム 主幹研究員 矢野拓 講演②「学位取得までの経緯と今思うこと」 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部きのこグループきのこチーム 主幹研究員 石原宏基 意見交換
H30.11.27	センター別館 第3会議室	研究員等38名	【第3回セミナー】 テーマ「大分県一次産品における機能性研究の新しい視点」 講演「食品機能性成分の解析と事業化に向けた問題点」 講師 国立大学法人大分大学医学部附属臨床医工学センター 助教 花田克浩氏 意見交換
H31.3.13	きのこグループ	中堅研究員等 63名	【第4回セミナー】(中堅研修と併催) テーマ「大分県の農林水産試験研究の進むべき方向とは」 講演①「技術職(研究職)の皆さんへ」 講師 農林水産研究指導センター 上野 通宏 センター長 講演②「私が常に意識していたこと」 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部長 吉松 英明 氏 講演③「私が行政施策を進めるうえで支えとなったこと」 講師 農林水産研究指導センター 林業研究部きのこグループ長 清原 誠二郎 氏 講演④「しくじり先生風 自分史」 講師 農林水産研究指導センター 水産研究部長 末吉 隆 氏

## 出前はやしセミナー(各所属からの要望への対応)

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.7.31	水田農業グループ	研究員等13名	【第1回出前セミナー】 林研究指導顧問は助言者として出席 講演①「TimeManagement ー仕事にかかる時間の事と問題解決に関する色々ー」 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部水田農業グループ グループ長 白石真樹夫 講演②「大分県におけるトビイロウンカに対する無人ヘリ防除の再検証試験」 講師 農林水産研究指導センター 農業研究部水田農業グループ企画指導担当 主幹研究員 小野元治
H30.11.13	水産研究部	研究員等18名	【第2回出前セミナー】 講演①「研究の方向性と倫理(案)」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 講演②「県南の漁業の現状と普及活動について(案)」 講師 南部振興局農山漁村振興部水産班 主査 西山雅人氏 意見交換
H31.2.25	果樹グループ	研究員等14名	【第3回出前セミナー】 講演「信頼性・再現性の高い試験のために」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 意見交換 ・調査、データとの向き合い方(向き合う姿勢・心構え) ・現場に信頼される研究とは
H31.3.15	花きグループ	研究員等8名	【第4回出前セミナー】 講演「信頼性・再現性の高い試験のために」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 意見交換
H31.3.27	畜産研究部	研究員等17名	【第5回出前セミナー】 講演「信頼性の高い研究のための心構え」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 意見交換

## 6. 知的財産権の取得状況

平成30年度で新たに登録された知的財産権は無かった。

なお、平成30年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

## (1) 特許登録

NO.	状況	登録		発明の名称	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日			
1	登録	3938786	2007/4/6	分娩予知通報システム	畜産研究部	50%
2	登録	4774484	2011/7/8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	水産研究部	40%
3	登録	4783883	2011/7/22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
4	登録	4905649	2012/1/20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	水産研究部	1/3
5	登録	4974002	2012/4/20	灌水施肥装置	農業研究部	30%
6	登録	4974003	2012/4/20	灌水施肥装置の濾過装置洗浄方法	農業研究部	50%
7	登録	5281775	2013/5/31	ウン脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	畜産研究部	20%
8	登録	5281920	2013/5/31	ウン脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	畜産研究部	20%
9	登録	5422848	2013/12/6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
10	登録	5733829	2015/4/24	凍結された精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	畜産研究部	50%
11	登録	5818111	2015/10/9	貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法	水産研究部	100%
12	登録	5904369	2016/3/25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	畜産研究部	50%
13	登録	5967487	2016/7/15	貝類の育成装置	浅海・内水面グループ	1/3
14	登録	6041238	2016/11/18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	水産研究部	20%
15	登録	6099048	2017/3/3	茶の施肥方法	農業研究部	50%
16	登録	6291669	2018/2/23	転倒ます型流量計測装置	農業研究部	20%

## (2) 品種登録

NO.	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
1	登録	15413	2007/3/23	なし	豊里	果樹グループ	100%
2	登録	17734	2009/3/6	かんきつ	大分果研4号	果樹グループ	100%
3	登録	20806	2011/5/24	トルコギキョウ	チェリービー	花きグループ	100%
4	登録	24322	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー2号	花きグループ	100%
5	登録	24323	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー3号	花きグループ	100%
6	登録	24345	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYOロマン2号	花きグループ	100%
7	登録	25606	2017/2/8	イチゴ	大分5号	農業研究部	100%
8	登録	26579	2018/2/9	大麦	トヨノホシ	水田農業グループ	70%

## 7. 九州大学との連携

県内には農林水産系の4年制大学がなく、研究交流が容易に進み難い状況にあるため、平成19年1月29日に九州大学大学院農学研究院と共同研究や人材養成について連携する基本協定を締結し、共同研究等で幅の広い研究を行うための連携を進めた。なお平成24年1月28日を以て5年間の有効期間が満了したが、引き続き5年間の協定の延長を行っている。

なお、平成30年度は農業、畜産、林業、水産の各分野で共同研究・連携に向けた取組を行うとともに、九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携協議会を1回開催した。

### 連携協議会関連行事

開催月日	場所	行事名	内 容	参 集 者
H30. 4. 24	九州大学 農学部附属農場 高原農業 実験実習場 (竹田市久住)	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の連携協議会の開催時期・場所について</li> <li>・平成30年度の連携協議会の開催内容について</li> </ul>	九州大学農学部 高橋准教授 センター 研究企画監 他2名
H30. 11. 22	九州大学 伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携協議会	<p>基調講演 「九大・富士通共同研究プロジェクト：作物の光合成・生長の可視化と制御への挑戦」 九州大学大学院農学研究院 准教授 安武大輔氏</p> <p>全体協議 ①「大分県におけるスマート農林水産業への取り組み」 農林水産研究指導センター 研究企画監 田中秀幸</p> <p>②「大分県及び九州大学でのスマート農林水産業の取組について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培について」 農林水産研究指導センター農業研究部 研究員 森崎章好</li> <li>・「Karenia Mikimotoi赤潮監視体制のスマート化への取り組み」 農林水産研究指導センター水産研究部 研究員 中里礼大</li> <li>・「バッテリーレス家畜バイタルセンシングプラットフォーム」 九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授 金谷晴一氏 アルセンス株式会社 滝口収氏</li> </ul>	九州大学 農学研究院長 他 センター センター長 他 (計 48名)
H31. 2. 22	九州大学 農学部附属農場 高原農業 実験実習場 (竹田市久住)	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度連携会のあり方についての意見交換</li> <li>・次年度テーマ「共同研究について」に関するニーズ調査要領の協議等</li> </ul>	九州大学農学部 高橋准教授 センター 研究企画監 他1名
H31. 3. 26	九州大学 伊都キャンパス	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度連携会(大分県開催)の打ち合わせ等</li> </ul>	九州大学 農学研究院長 他 センター センター長 他1名



## 8. 受賞、学位取得の状況

### (1) 受賞者一覧

#### 林業研究部

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
主幹研究員 木材チームリーダー 高宮立身	第31回研究功績賞	全国林業試験研究機関協議会	平成31年1月17日	鳥獣害防止対策の第一線で尽力し、鳥獣害被害額の縮小に貢献

#### 水産研究部

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
大分県農林水産研究指導センター水産研究部	第2回薬剤耐性（AMR）対策普及啓発活動表彰	農林水産大臣	H30.11.5	水産分野における抗菌剤の使用を必要最小限とする魚病対策とその普及啓発活動

### (2) 学位取得者

平成31年3月末時点での当センター在籍職員の学位（博士）取得者は8名である。

センター所属：取得10名

（内訳 農研1、水田1、果樹1、畜産2、林研1、きのこ2、水研2）

センター以外の所属：取得5名

## 9. 主要な行事・会議等

### (1) 主な行事・会議等一覧表

月 日	行事名等	場 所
平成30年7月18日～19日	農林水産部試験研究部門別評価会議	大分県水産会館
平成30年8月29日	農林水産部試験研究全体評価会議	大分県水産会館
平成30年9月4日	農林水産部試験研究推進本部会議	県庁
平成30年10月13日～14日	農林水産祭（農・林業部門）への農業・畜産・林業研究等の展示	別府公園
平成30年10月20日～21日	農林水産祭（水産部門）への水産研究展示	亀川漁港
平成30年11月10日	農大祭への農業・畜産・林業研究等の展示	農業大学校グラウンド
平成30年12月26日	ふるさとしごとフォーラム（花きG、きのこG）	コンバルホール

### (2) 所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当（総括）等で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は2回、企画調整会議は5回開催した。

## 10. 各所属の業務・試験研究

所属名	主な業務・研究内容
農林水産研究指導センター(本部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究課題の決定調整・進行管理</li> <li>○共同研究の調整・知的財産取得・活用</li> <li>○課題評価・成果公表</li> <li>○研究員の資質向上</li> <li>○産学官交流・連携促進</li> </ul>
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土壌管理・施肥改善技術、有機栽培技術</li> <li>○病害虫発生予察・防除技術、環境保全型農業技術</li> <li>○イチゴの品種育成・選定、栽培技術</li> <li>○トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術</li> <li>○ネギ・ニラ・カンショ・キャベツ等の栽培技術</li> <li>○茶の品種選定、栽培・加工技術</li> </ul>
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稲・麦・大豆の品種の育成・選定</li> <li>○稲・麦・大豆の栽培技術、優良種子生産</li> </ul>
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術</li> <li>○カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> <li>○ナシ・ブドウ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> </ul>
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> <li>○バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発</li> </ul>
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給</li> <li>○肉用牛の飼養技術及び繁殖技術</li> <li>○乳用牛の飼養技術及び繁殖技術</li> <li>○牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策</li> <li>○豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給</li> <li>○家禽の育種並びに飼養管理技術</li> </ul>
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林施業技術、スギ等育種、病虫獣害対策技術</li> <li>○木材乾燥技術、木材性能評価、製品開発</li> </ul>
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きのこの育種、栽培技術、病害虫防除技術</li> <li>○きのこ類の生理、分類、同定に関する研究</li> </ul>
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術</li> <li>○養殖技術の開発、魚介類の疾病対策、漁場環境保全、水産物の品質向上技術</li> </ul>
浅海・内水面グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○別府湾以北の漁場環境保全、海藻類の増養殖技術、魚介類の種苗生産、放流技術及び資源管理</li> <li>○淡水魚の増養殖技術、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術</li> </ul>

## 11. 予算概要

平成30年度当初予算(経常的経費[人件費を除く])

(単位:千円)

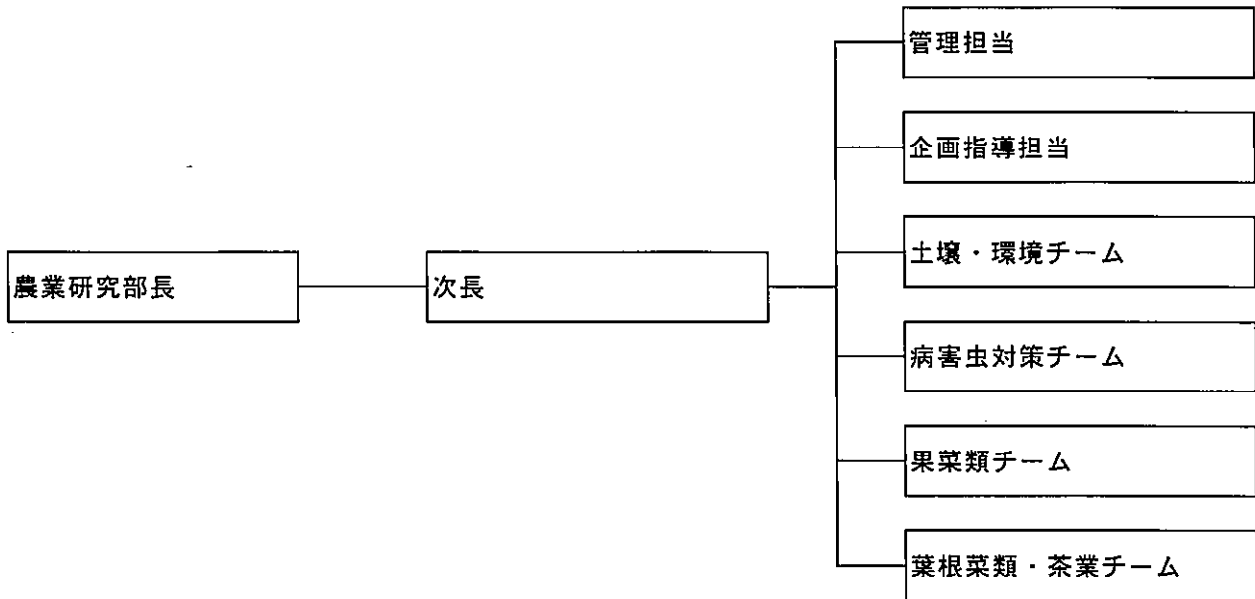
区 分	管理運営費 +管理予算	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費 (農林水産研究指導センター本部)			12,972	12,972
農林水産研究指導センター施設整備事業		72,587		72,587
農業研究部	55,108		45,688	100,796
水田農業グループ	20,109		15,151	35,260
果樹グループ	12,753		25,179	37,932
花きグループ	12,333		12,801	25,134
畜産研究部	51,896		158,877	210,773
林業研究部	14,909		9,452	24,361
きのこグループ			14,296	14,296
水産研究部	26,845		36,629	63,474
浅海・内水面グループ	26,066		23,470	49,536
合計(農林水産研究指導センター)	220,019	72,587	354,515	647,121

## II 各研究部・グループの概要

### II-1 農業研究部

#### 1. 組織および職員配置状況

##### (1) 組織



##### (2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部次	長		1					1	
管	長	1						1	兼センター管理調整監
企	担	5						5	
土	当		6					6	広域普及指導員3名
病	土		7		1			8	
果	害		9			1		10	
葉	虫		9	3				12	
根	対		6		1	1		8	
計	策	6	38	3	2	2	0	51	

## (3) 業務

## 主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

## 企画指導担当

- ①生産者に対する研修および現地指導
- ②試験研究の企画調整、進行管理
- ③研究成果のとりまとめ、研究員の育成

## 土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③未利用資源の農業活用技術に関すること
- ④農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ⑤肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析

## 病虫害対策チーム

- ①安全性に配慮した農産物の生産技術の組み立て
- ②化学農薬の削減による安全・安心な防除技術の開発、実証
- ③難防除病虫害、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ④病虫害発生予察に基づく、予防的減農薬栽培技術の組み立て、実証
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

## 果菜類チーム

- ①トマトの周年安定生産技術の研究
- ②夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
- ③イチゴ新品種の育成
- ④イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
- ⑤パプリカの品質・収量向上のための現地実証

## 葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、キャベツ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病虫害に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部(1/3)

農業研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もつかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
1) イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム	地域農業振興課、産業科学センター、各振興局	H28~31	県単、一部国庫
・ 環境制御技術によるいちごの収量向上				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
1) 次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培の「見える化」技術の構築	土壌・環境 チーム	北部振興局	H30~32	県単
・ 革新的な省力栽培技術の開発				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の安定生産技術の確立	葉根菜類・茶業 チーム	—	H28~30	県単
・ 市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立				
(1) 輸出向け小イモ生産技術の確立	葉根菜類・茶業 チーム	—	H28~30	県単
・ トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
・ 農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
1) 夏秋野菜の栄養・機能性成分の数値化	土壌・環境 チーム	地域農業振興課、中部振興局、豊肥振興局、西部振興局、果菜類チーム	H29~31	県単
・ 高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
2 ブランド化のための技術開発				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
・ いちごの県オリジナル品種の育成				
1) 県間連携によるイチゴ新品種の育成	果菜類 チーム	農研機構、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、長崎県	H28~30	県単
・ トマト新品種の選定				
・ 糖度判定技術の迅速化				
・ 農産物の機能性成分評価に関する研究				
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
1) カンショの品種選定	葉根菜類・茶業 チーム	農研機構	長期	県単

農業研究部(2/3)

3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ かねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発				
・ 製菓機械の効率化のための分析・改良提案				
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立				
1) 大苗利用による根深ネギの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	—	H30~32	県単
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発				
1) ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	—	H28~30	県単
・ 白ねぎの土壌病害の防除技術の確立				
・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策				
・ 農産物の安全安心に関する研究(薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術)				
1) 夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	病虫害対策チーム	地域農業振興課、中部振興局、豊肥振興局	H30~32	県単
2) 平坦地に適した根深ネギべと病の防除技術の確立	病虫害対策チーム	北部振興局	H30~32	県単
3) 稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病虫害対策チーム	各振興局	H29~31	県単
4) ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシ既発生地における発生実態の解明と生物的防除を核とした薬剤抵抗性管理技術の策定	病虫害対策チーム	日本書連(株)、農研機構、和歌山県、宮崎県、各振興局	H26~30	国庫
5) 次世代バンカー資材キットによるアブラムシ類基盤的防除技術の実証・普及	病虫害対策チーム	農研機構(株)アグリ総研、豊肥振興局	H28~30	国庫
6) ドローンを利用した病虫害の防除効果の解明	病虫害対策チーム	豊肥振興局	H30	県単
・ シソモザイク病及びさび症の防除体系の確立				
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発				
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発				
1) 亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立	土壌・環境チーム	北部振興局	H28~30	県単
・ IPM管理技術を活用した防除体系の確立				
・ 有機農業の支援				
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立				
(1) 業務用加工キャベツの周年供給体制の確立	葉根菜類・茶業チーム	北部振興局	H28~30	県単
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類チーム	中部振興局、豊肥振興局	H29~31	県単
2) 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類チーム	西部振興局	H28~31	国庫
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発				
1) 夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	果菜類チーム	—	H30~32	県単

農業研究部(3/3)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低コスト耐候型施設の開発</li> <li>・ 養液栽培における生産安定技術の開発</li> <li>・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術(効率的施肥)の開発</li> </ul>				
1) 茶試験圃場の育成	葉根菜類・茶業チーム	農研機構	長期	県単、一部国庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発</li> </ul>				
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発</li> </ul>				
1) 製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	土壌・環境チーム	病害虫対策チーム	H28~30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業情報の提供(生育状況、気象データ)</li> </ul>				
1) 農業情報の提供(気象データ)	企画指導担当	水田農業グループ、果樹グループ、花きグループ	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌情報の活用</li> </ul>				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境チーム	各振興局	H25~32	国庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌肥料検査業務</li> </ul>				
1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境チーム	—	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援</li> </ul>				
1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境チーム	—	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病害虫発生予察情報(普通作・野菜・果樹・茶)</li> </ul>				
1) 病害虫発生予察事業	病害虫対策チーム	—	長期	県単、一部国庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィルスフリー苗の作出</li> </ul>				
1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類チーム	—	長期	県単
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜類・茶業チーム	—	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域固有の動植物の保存</li> </ul>				
1) 地域固有の動植物の保存	企画指導担当	各振興局	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託薬剤試験</li> </ul>				
1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策チーム	各振興局	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイナー作物農薬残留調査</li> </ul>				
1) 農薬残留特殊調査(マイナー作物への登録拡大)	病害虫対策チーム	大分県薬剤師、東部振興局、北部振興局	H28~30	県単、一部国庫



## 3. 研究成果等の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成29年度農業研究部試験研究成績書	H31.03.	370	60

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
森崎幸好	麦焼酎蒸留廃液濃縮液の活用方法の検討	施設と園芸 (ミニ情報)	No. 182夏	57
池永亜希子	スイーツのようなストロベリー「ベリーの開発」 大分県イチゴ新品種「大分6号」	JATAFFジャーナル	No. 7(1)	

## (3) 研究会、学会等での発表

## 3. 研究成果などの公表及び情報発信

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	森崎幸好・玉井光秀・埴谷博一	麦焼酎蒸留廃液濃縮液(TS50)が植物体、土壌、地下浸透に与える影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	山野秀真・椎原誠一	低温とかん水管理が冬春トマトの収果発生に及ぼす影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	池永亜希子・山田晴夫	イチゴ「大分6号」の育苗時施肥法の違いが花芽分化に及ぼす影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	佐藤如・池永亜希子・山田晴夫	イチゴ「大分6号」の果実特性について
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	清松慎司	高軒高ハウスの夏秋栽培におけるパプリカの有望品種の検討
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	山賀陽子・清松慎司・山田晴夫	夏秋ピーマンにおける有望品種の管理方法の検討
H30.11.7	九州病害虫研究会第96回研究発表会	鈴木智範・岡本潤・佐藤道浩	大分県におけるイネ稻こうじ病の発生状況
H30.11.20	平成30年度日本茶業学会	榊野智也	新品種「はると34」と「せいめい」の大分県における栽培・加工特性
H31.1.29	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 土壌肥料若手セミナー	森崎幸好	大分県における小ネギ栽培の現状と課題解決に向けた取り組み
H31.1.29	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議	森崎幸好・藤谷渉・玉井光秀	小ネギ栽培における緩効性肥料を活用した窒素溶脱の軽減
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山野秀真	夏秋トマトの整枝法改善による出荷標準化の検討
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	佐藤如	イチゴ「さがほのか」における中休みの推定
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	佐藤如	イチゴ「大分6号」の育苗期施肥法の評価
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	清松慎司	高軒高施設におけるパプリカの有望品種の選定
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山賀陽子	イチゴ「さがほのか」の育苗時鉢上げ時期と施肥がランナー発生に及ぼす影響
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	小野紘平	イチゴ品種の特性
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	大坪亮介	根深ネギの簡易型大苗育苗技術について
H31.1.31	九州病害虫研究会第97回研究発表会	鈴木智範・岡本潤・佐藤道浩	イネ稻こうじ病に関する省力的防除方法の検討
H31.3.19	平成31年度日本植物病理学会大会	松本翔太	フルトラニル剤耐性ネギ白絹病菌の発生

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成30年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	H30.12.18	県庁91会議室	1	63
農業研究部研究状況説明会	H31.1.10	農業研究部	4	2
平成30年度農業研究報告会	H31.2.22	豊後高田市	3	20

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.5.14	県北キャベツ推進対策会議	JAおおいた北部事業部(宇佐)	20	
H30.5.30	トマト隔離ベット栽培現地指導	三重総合高校久住分校	8	三重総合高等学校久住分校
H30.6.10	社会科学学習	西の台小学校	60	大分市立西の台小学校
H30.6.27	平成30年産第2回つや姫生産者研修会	JA安心院支店	30	北部振興局
H30.7.3	無人航空機所有者及び運営組織等連絡会議	産業科学技術センター	43	
H30.7.12	土壌断面調査研修会	北部振興局	10	水田畑地化PT
H30.7.17	平成29年産「ベリーツ」ブロック別実績検討会	JAおおいた東部事業部	40	地域農業振興課
H30.7.26	園芸作物生産適地判定技術研修会	水田農業G	45	園芸振興室
H30.7.27	グッピー現地検討会	豊後大野市	12	豊肥振興局
R1.8.9	水稲採種圃講習会	水田農業G	25	水田農業グループ
H30.8.21	味ーネギトレーニングファーム生研修	宇佐市	5	北部振興局
H30.8.22	平成29年産「ベリーツ」ブロック別実績検討会	北部振興局	7	地域農業振興課
H30.9.4	植物工場水耕レタス栽培現地指導	佐伯市	7	
R1.9.14	白ネギ講習会	豊後高田市	10	北部振興局
H30.10.18	茶園造成土壌調査研修	宇佐市	20	北部振興局
H30.10.23	企業参入現地指導(トマト低段密植栽培)	国東市	7	
H30.10.25	「ベリーツ」現地研修会	杵築市	40	杵築イチゴ部会
H30.11.6	水田畑地化土壌調査研修	宇佐市	10	北部振興局
H30.11.15	革新的技術開発・緊急展開事業(パプリカ)現地研修会	九重町	35	農研機構
H30.11.28	九州沖縄農業研究推進会議野菜花き部会	豊後高田市	55	九州沖縄農業研究推進会議
H30.11.29	夏秋ピーマン研修会	玖珠町	25	JA玖珠九重町
H30.12.4	水田畑地化にかかる排水対策現地研修会	北部管内	40	園芸振興室
H30.12.6	水耕栽培のいろいろな話	佐伯市	30	佐伯市
H30.12.11	施肥防除研修会	教育会館	60	大分県肥料植物防疫協会
H30.12.21	「ベリーツ」現地検討会	白杵市	60	中部振興局
H30.12.27	イチゴ肥料現地検討会	由布市	6	中部振興局
H31.1.10	研究状況説明会	農業研究部	2	
H31.1.29	九州沖縄農業試験研究推進会議生産環境推進部会土壌肥料若手セミナー	くまもと県民交流館パレア	28	農研機構
H31.2.8	大分工業高等専門学校・農林水産研究指導センター連携会	農業研究部	28	
H31.2.16	第36回アグレッッシュおおいた研修会	ホルトホール	42	アグレッッシュおおいた
H31.2.21	味ーネギ新規生産者研修土壌物理性座学	北部振興局	8	北部振興局
H31.3.20	大分から広域共販技術者協議会役員会	大分市	10	大分から広域共販技術者協議会

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ  
該当なし

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	15	190	
団体等職員	1	50	
普及指導員	20	223	
学生	2	5	※大学
児童・生徒	0	0	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	13	70	
計	51	538	

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
西日本の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立	IPMによる天敵防除技術のピーマン及びイチゴ産地への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物農薬導入実演会を臼杵市、豊後大野市で実施するとともに、病害虫調査を行った。</li> <li>・イチゴでミヤコバンカーの利用を加えた防除暦の改訂を行った。</li> <li>・ピーマンでスワルスキー製剤（バンカー型、ボトル型）を導入した防除暦を作成した。</li> </ul>
ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術	ドリンク茶法人における品質適合率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新芽調査、繊維分析による適期摘採、整枝による作期分散実証を実施した。</li> <li>・病害虫防除暦、新品種の検討を行った。</li> </ul>
イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	県育成品種「大分6号」の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域親株の確保および配布、親株管理・育苗管理講習会を開催した。</li> <li>・定植前後や厳寒期に向けた樹勢管理について講習会を開催し技術普及を図った。</li> <li>・IPM実証ほを5カ所に設置し、ハダニの防除体系を実証した。</li> <li>・栽培マニュアルを改訂した。</li> </ul>

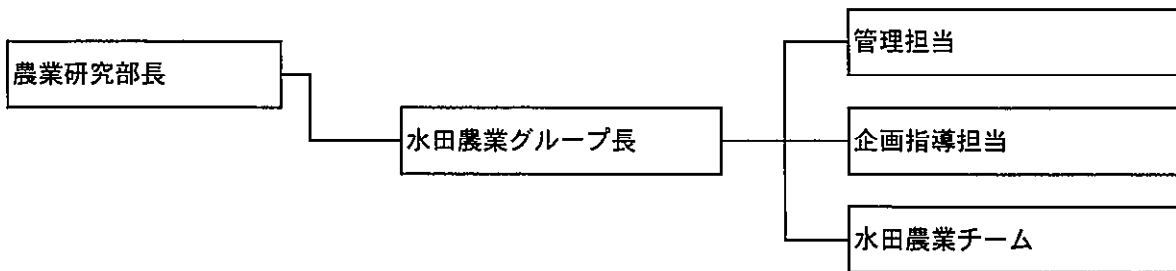
1. 組織および職員配置状況

(1) 組織

II-2 農業研究部 水田農業グループ

1. 組織及び職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		3		1				4	
企画指導担当			2					2	広域普及指導員1名
水田農業チーム			8	5				13	
計		3	11	6	0	0	0	20	

(3) 業務

- ①水田農業の確立に関する試験研究
- ②水稲・麦・大豆の新品種選定及び栽培技術改善
- ③水稲・麦・大豆優良種子生産事業

## 2. 試験研究課題

農業研究部 水田農業グループ

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 1) 研究項目				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ ICT、RTを活用した生産環境情報収集による低コスト化技術の開発 1) ドローンおよびウェアラブルカメラを利用した農作業技術伝承手法の検討(予備試験)	水田農業 チーム	振興局	H30	県単
2 ブランド化のための技術開発				
・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立 1) 県産米利用拡大に向けた酒米生産技術の確立	水田農業 チーム	県酒造組合 振興局	H28~30	県単
・ 食味、機能性、安全性などに優れた品種の選定と栽培技術の確立 1) 水稲・麦・大豆の品種選定	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 農業課、振興局	H28~30	県単
・ 地場企業に向けた麦類・大豆の品種選定と省力栽培技術の確立			H29該当なし	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立			H29該当なし	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 土地条件に対応した水稲直播栽培等低コスト栽培技術の確立 1) 経営規模拡大と低コスト化をめざした水稲乾田直播栽培の体系化実証	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 アグリテクノ矢崎	H29~31	県単 国庫
・ 水田フル活用に向けた新規需要米 ※、麦・大豆の低コスト安定栽培技術の確立			H29該当なし	
・ 農地集積や大区画化に対応した水田営農システムの確立 1) 播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定生産技術の確立	水田農業 チーム	振興局	H30~32	県単
・ 帰化植物、薬剤抵抗性等の難防除雑草の防除技術の開発 1) 生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 振興局	H30~31	県単 国庫
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 焼酎粕等の未利用資源の活用による地域循環型栽培法の確立 1) 麦栽培期間中の堆肥投入による水田地力回復技術の確立	水田農業 チーム	農業研究部、振興 局	H30~32	国庫
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査の情報提供による生産指導支援 1) 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査	水田農業 チーム	農業課、振興局	長期	県単
・ 主要農作物(水稲、麦類、大豆)の優良種子管理 1) 主要農作物等種子対策事業	水田農業 チーム	農業課、振興局	長期	県単

## 3. 研究成果等の公表及び情報発信

### (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成29年度水田夏作試験成績書	H31. 3. 28	253	60
平成29年度(平成30年産)水田冬作試験成績書	H31. 3. 28	144	60
2019年産大分県飼料用米栽培マニュアル	H31. 3. 29	16	1,500
大豆作難防除雑草の侵入・拡散防止と新たな防除技術	H31. 3. 29	12	1,000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿 該当なし

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
田村克徳、片岡知守、中西愛、佐藤宏之、田村泰章、坂井真、山口修、和田卓也、坪根正雄、多々良泉、徳田眞二、吉田桂一郎、古賀潤弥、中山美幸、藤井康弘、三ツ川昌洋、清水康弘、長谷川航、白石真貴夫、永吉嘉文、松浦聡司、若松謙一、佐藤光徳、園田純也、竹内善信	団地地域における水稻の高温登熟耐性基準品種の選定	日本作物学会記事	第87巻(第2号)	p209~214

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.4.13	日本雑草学会第57回大会	河野 礼紀	薬剤および中耕の組み合わせによるカロライナツユクサの防除効果
H30.9.15	九州農業研究発表会 作物部会(水田作)／日本作物学会九州支部第95回講演会	墨谷荘平・吉良知彦・白石真貴夫・清水康弘・大窪恵美子・財前裕一、森山修志、二宮淑恵、水落結香、安部良樹、伊東さち子、田原裕作、衛本圭史、大成忍、長谷川航、二階堂雅士、和田久継、下田雅彦、大塚正、河野誠一、北里陽介、長森義和、四ッ谷岳昭、藤居崇、森健太郎、久保雅彦	多収で病害に強い焼耐用二条大麦品種「トヨノホシ」の特性

4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題(発表者)	参加者数
平成30年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	平成30年12月18日	県庁舎本館91会議室	収量・品質・栽培性に優れる醤油用小麦「中国168号」の特性について  (水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 山本 真梨子)	58名

## 5. 研究成果の普及、技術指導

### (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H30.4.26	水稲乾田直播栽培技術指導に関する勉強会	水田農業グループ	30	地域農業振興課主催
H30.4.26	杵築市特A米研修会	杵築市	35	東部振興局主催
H30.5.16	北部振興局大豆栽培研修会	宇佐市	120	北部振興局から要請
H30.5.18	農事組合法人うたえだ視察研修	水田農業グループ	20	農事組合法人うたえだから要請
H30.6.29	豊肥振興局大豆栽培研修会	豊後大野市	70	豊肥振興局から要請
H30.6.6	水田スマート農業推進研修会	国東市	50	農地活用集落営農課主催
H30.7.12	山香町つや姫研修会	杵築市山香町	25	J A おおいた主催
H30.8.7	ラジコン式草刈り機等の実演会	大分市野津原町	70	地域農業振興課主催
H30.8.8	ラジコン式草刈り機等の実演会	杵築市山香町	80	地域農業振興課主催
H30.8.9	水稲採種ほ栽培指導研修会	大分市	30	農地活用集落営農課主催
H30.8.17	飼料用米栽培研修会（中津生産者）	水田農業グループ	20	県農協から要請
H30.8.20	農業散布ドローンの実演会	杵築市	25	全農から要請
H30.8.27	豊後大野市緒方野仲 中山間組織視察	水田農業グループ	20	緒方野仲 中山間組織から要請
H30.8.30	課題解決研修	水田農業グループ	35	地域農業振興課主催
H30.9.10	豊後大野市採種圃生産者研修会	水田農業グループ	10	豊後大野市から要請
H31.9.11	ラジコン式草刈機agriaの実演会	杵築市山香町	110	地域農業振興課主催
H31.11.7	スマート農業研修会	宇佐市	65	北部振興局主催
H31.11.8	三重県普及指導員視察研修	水田農業グループ	2	三重県から要請
H31.11.11	施肥防除対策研修会	大分市	140	地域農業振興課主催
H31.11.13	土壌診断勉強&可給態窒素簡易分析（麦大豆）の研修会	農業研究部	45	地域農業振興課主催
H31.2.5	農業指導士養成研修	大分市	80	地域農業振興課主催
H31.2.6	つや姫栽培研修会	別府市	60	農地活用集落営農課から要請
H31.2.7	福岡県香椎町農業委員会視察研修	水田農業グループ	20	福岡県香椎町農業委員会から要請
H31.2.12	福岡県八女地域農業振興推進協議会普通作部会視察研修	水田農業グループ	20	福岡県八女地域農業振興推進協議会から要請
H31.2.13	部門横断（耕畜連携）研修	豊後大野市大野町	45	地域農業振興課主催
H31.2.19	静岡県畦畔管理研修	静岡県小山町	57	静岡県東部農林事務所から要請
H31.2.21	福岡県桂川町農業委員会視察研修	水田農業グループ	15	福岡県桂川町農業委員会から要請
H31.2.22	福岡県上毛町集落営農連絡協議会視察研修	水田農業グループ	20	福岡県上毛町集落営農連絡協議会から要請
H31.2.25	課題解決研修	水田農業グループ	40	地域農業振興課主催
H31.3.6	豊後高田法人会研修	水田農業グループ	15	豊後高田法人会から要請
H31.3.15	普及員アグリノート検討会	花きグループ	13	農地活用集落営農課主催
H31.3.22	J A 延岡深瀬営農組合視察研修	水田農業グループ	22	J A 延岡深瀬から要請

(2) 受入研修

①長期研修者受入 該当なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	9	157
団体等職員	4	8
普及指導員	4	107
学生	0	0
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	1	15
計	18	287

※大学

※小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

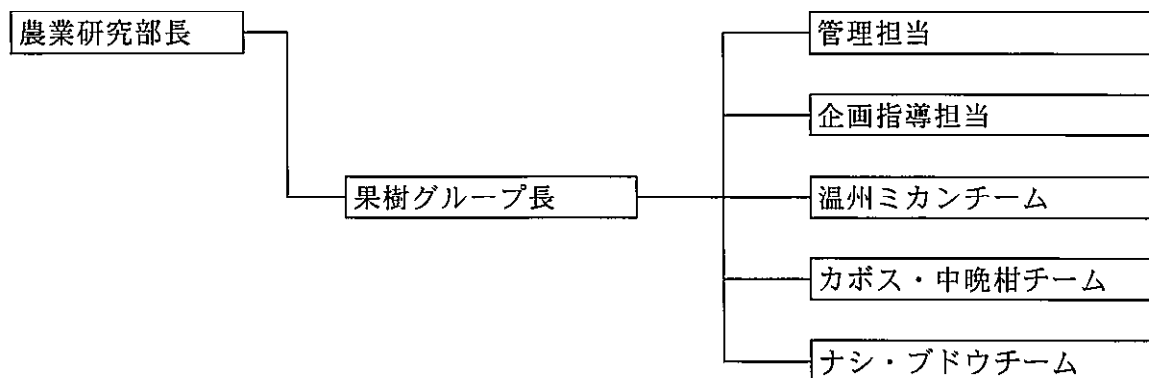
課題名	目的	現地実証等の概要
大豆摘芯栽培法の普及	大豆の摘芯栽培を現地で実証し普及を図る。	現地5圃場において、大豆の早播き後の摘芯栽培の問題点を把握しながら実証展示を行った。



Ⅱ-3 果樹グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職 員		技 師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備 考
	事 務	技 術						
グループ長		1					1	
管理担当	1						1	
企画指導担当		3					3	広域普及指導員2
温州ミカンチーム		4		1			5	
カボス・中晩柑チーム		4		1			5	
ナシ・ブドウチーム		5	2		1		8	
計	1	17	2	2	1		23	

(3) 業務

- ①温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③ナシ・ブドウ等の優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

## 2. 試験研究課題

農業研究部 果樹グループ

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 ・研究項目 (1)小課題				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ハウスミカンの早期成圃化及び高生産技術の確立				
(1) ハウスミカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	温州ミカンチーム		30～32	県単
・ナシの早期成圃化及び高生産技術の確立				
(2) 若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成圃化技術「ナシ流線型仕立」の確立	ナシ・ブドウチーム		26～28	県単
・水田フル活用の推進				
(3) 水田転換に対応した新たな落葉果樹栽培技術の開発	ナシ・ブドウチーム		30～32	県単
2 ブランド化のための技術開発				
・カンキツ優良品種の選定と栽培技術の確立				
(4) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		28～30	県単
・落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
(5) 落葉果樹の系統適応性検定試験	ナシ・ブドウチーム		28～30	県単
・カンキツの品種の育成と栽培技術の確立				
(6) 無加温ハウスに適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		28～30	県単・国庫
(7) 県南地域を支える地域特産中晩柑の高品質・安定生産技術の確立	カボス・中晩柑チーム		29～31	県単
(8) 温暖化に適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		26～30	県単
・ナシ極早生品種の育成と栽培技術の確立				
(9) 「豊里」につづけ！うまくて高収量な大分県オリジナル極早生ナシの開発	ナシ・ブドウチーム	花きG	28～30	県単
・落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
(10) いつも美味しい！「おおいのシャインマスカット」生産技術の確立	ナシ・ブドウチーム		29～31	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・カボスの周年安定出荷のための栽培及び貯蔵方法の確立				
(11) グリーンカボス安定出荷に対応した技術開発 ～産地から店頭まで～	カボス・中晩柑チーム		28～30	県単
・果樹の病害虫防除体系の確立				
(12) 果樹の病害虫防除並びに植物生長調節剤に関する試験				
①温州ミカン、カボス・中晩柑	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		28～30	県単・国庫
②ナシ・ブドウ	ナシ・ブドウチーム		28～30	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・施設柑橘の大規模化を可能にする技術確立				
(6) 無加温ハウスに適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		28～30	県単
・ハウスミカンの省エネ及び高収益栽培技術の確立				
(1) ハウスミカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	温州ミカンチーム		30～32	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・温暖化に適応可能な新たな果樹品目の探索と栽培技術の確立				
(7) 温暖化に適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		26～30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・農業情報の提供(生態調査)	果樹グループ		長期	県単
①カンキツの生態調査				
②落葉果樹の生態調査				
・優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の管理	果樹グループ		長期	県単
・地元ゆかりの動植物の保存	果樹グループ		長期	県単

## 3. 研究成果等の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成29年度大分県農林水産研究指導センター果樹グループ試験研究年報CD版	H31.2.14	229	120枚

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
渡邊久能	植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル ナシ炭疽病：QoI剤(生物・培地検定)	植物防疫	71	327-330
矢野 拓	A generalized linear model to predict the growth of potted seedlings of Satsuma mandarin (Citrus unshiu Marcow.) under different initial plant conditions, environmental conditions, and pot size.	The Horticulture Journal	87	490-498
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-6月	92-94
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-8月	92-94
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-10月	92-94
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-12月	92-94

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.5.24	平成30年度九州沖縄試験研究推進会議果樹推進部九州沖縄果樹研究会	七條由衣	温暖化に対応した越冬完熟「不知火」の高品質・安定生産技術の確立
H30.9.12	平成30年度九州沖縄農業研究発表会(果樹部門)	吉澤栄一	スプリンクラー散水による露地温州ミカン「おおいた早生」の日焼け果軽減
H30.9.12	平成30年度九州沖縄農業研究発表会(果樹部門)	桂 奈央	反射マルチ敷設によるカボスの果皮緑色向上効果
H30.9.23	一般社団法人園芸学会	吉澤栄一	ハウス栽培における果実生育期のかん水管理によるカンキツ「あすみ」果実の裂果発生抑制の可能性
H30.12.20	日本ブドウ・ワイン学会	高倉晏希子	温暖な九州の気候にあわせた野生ブドウを用いた着色良好な赤ワイン用ブドウの開発
H31.2.5	平成30年度常緑・落葉果樹病虫害研究会(虫害分科会)	檜原 稔	ミカンバエに対する防除効果の検討 ～キラップJ水溶性とモスピランSL液剤による体系防除～
H31.3.23	一般社団法人園芸学会	矢野 拓	日中の生体および環境計測によるウンシュウミカンの水ストレス程度の推定

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
農林水産研究指導センター研究状況報告会	H30.9.20	県庁本館91会議室	1	50
農林水産部普及活動・研究成果報告	H31.1.23	知事第1応接室	1	21
九州沖縄推進会議(果樹推進部会)	H31.1.29-30	佐賀市(ホテルグランデはがくれ)	15	78

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.13	接ぎ木研修	果樹グループ(国東)	5	柑橘研究会杵築支部青年部
H30.4.19	ブドウ研修会	宇佐市	60	県ブドウ研究会
H30.4.19	大分県ぶどう研究会研修会	安心院	30	大分県ぶどう研究会
H30.4.19	シャインマスカット若手生産者研修会	安心院	10	園芸活性化協議会
H30.5.2	大分果研4号生産者説明会	JA県南柑橘選果場	20	JA県南柑橘選果場
H30.5.2	大分県なし研究会若手生産者研修会	日田市	30	大分県なし研究会
H30.5.2	大分県なし研究会若手生産者研修会	日田市	40	大分県なし研究会
H30.5.9	ナシ大苗研修	由布市	8	振興局
H30.5.24	県南地区温州みかんマルチ栽培研修会	佐伯市	30	JAおおい県南柑橘選果場
H30.6.1-4	農大生研修	カボス・中晩柑チーム	1	農業大
H30.6.6	ナシ大苗研修	日田市	8	振興局
H30.6.7	JAおおい柑橘研究会研修会	大分市	40	JAおおい
H30.6.13	JAおおいカボス部会研修会	大分市	30	JAおおい
H30.6.25	JAおおい県南地区カボスエリア別研修会	臼杵市	40	JAおおい県南柑橘選果場
H30.6.26	大分果研4号摘果講習会(県南)	JA県南柑橘選果場	20	JA県南柑橘選果場
H30.6.26	サンセレブ研修会	県南柑橘選果場	20	JAおおい県南柑橘選果場
H30.6.28	JA長崎せいひ視察研修会	カボス・中晩柑チーム	14	JA長崎せいひ
H30.6.28	大分市ミカンバエ防除対策研修会	大分市滝尾選果場	30	大分市、中部振興局
H30.6.29	大分果研4号摘果講習会(県北)	JA杵築選果場	15	JA杵築選果場
H30.7.4	津久見市柑橘組合長会議	津久見市役所	20	津久見市、中部振興局
H30.7.11	ナシ流線形仕立研修	宇佐市	24	西部振興局・日田市南部なし組合
H30.7.14	平成30年度みかん学校	南部振興局	15	JAおおい県南柑橘研究会
H30.7.19	八幡浜市農業委員会視察研修会	カボス・中晩柑チーム	10	八幡浜市農業委員会
H30.7.19	ナシ大苗研修	由布市	8	振興局
H30.8.6	ハウスミカン剪定研修会	農大	10	ハウスミカンPT会議
H30.8.9	湯平ユズ組合ミカンバエ講習会	湯平ユズ組合	5	湯平ユズ組合
H30.8.24	平成30年度露地みかん研修会	杵築柑橘選果場	60	大分県柑橘研究会
H30.8.28	JA杵築柑橘部会東支部	カボス・中晩柑チーム	18	JA杵築柑橘部会東支部
H30.8.31	ハウスミカン研修会	果樹グループ(国東)	10	JAおおい、南部局
H30.9.8	平成30年度みかん学校	南部振興局	15	JAおおい県南柑橘研究会
H30.9.11	中日本大分分会視察研修会	カボス・中晩柑チーム	11	JA全農おおい大阪事務所
H30.9.12	ハウスミカン研修会	農大	10	ハウスミカンPT会議
H30.9.14	ハウスミカン研修会	杵築市	8	JAおおい、東部局
H30.9.19	ナシ大苗研修	日田市	8	振興局

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.10.4	みかん園検査識別研修会	大分市	15	地域農業振興課
H30.10.10	加温機研修会	佐伯市	10	ファーマーズスクール生研修
H30.10.22	ハウスミカン研修会(役員会)	杵築市	30	JAおおいた、東部局
H30.10.25	中晩柑研修会	県南柑橘選果場、JAおおいた南部事業部	50	県南柑橘選果場
H30.11.6	JAあまくさ視察研修会	カボス・中晩柑チーム	12	JAあまくさ
H30.11.8	ハウスミカン研修会	果樹グループ(国東)	5	ハウスミカンPT会議
H30.11.8	ハウスみかん全員集会	杵築柑橘選果場	60	JAおおいた杵築柑橘選果場
H30.12.3	課題解決研修(果樹) 獣害対策	臼杵市	60	普及指導員研修
H30.12.5	ブドウ研修会	宇佐市	60	JAおおいた北部事業部
H30.12.21	ハウスミカン栽培管理、病害虫、品種研修会	果樹グループ(国東)	12	柑橘研究会杵築支部青年部
H30.12.25	刈り剪定研修会	臼杵市	20	園芸活性化協議会果樹部会
H30.12.26	果樹防除暦検討会	JAおおいた本店	40	園芸活性化協議会果樹部会
H30.12.26	課題解決研修(果樹) 病害虫対策	大分市	30	普及指導員研修・園芸活性化協議会果樹部会
H30.12.26	果樹防除暦検討会	大分市	30	園芸活性化協議会果樹部会
H31.1.9	ハウスミカン研修会	果樹グループ(国東)	5	ハウスミカンPT会議
H31.1.10	美娘部会せんだい研修会	杵築市	20	JAおおいた杵築柑橘選果場
H31.1.11	デコボン部会全員集会	杵築柑橘選果場	25	JAおおいた杵築柑橘選果場
H31.1.28	ハウスミカン、ハウス中晩柑研修会	果樹グループ(国東)	23	農大
H31.2.23-25	佐伯市ファーマーズスクール剪定研修会	カボス・中晩柑チーム	4	南部振興局
H31.2.26	JA北部事業部視察研修会	カボス・中晩柑チーム	15	JA北部事業部、南部振興局
H31.2.27	ミカンバエ防除対策関係者会議	大分市	35	地域農業振興課
H31.3.5	平成30年度ハウスみかん研修会	杵築柑橘選果場	60	大分県柑橘研究会
H31.3.9	平成30年度みかん学校	南部振興局	15	JAおおいた県南柑橘研修会
H31.3.12	中晩柑研修会	県南柑橘選果場	48	園芸活性化協議会果樹部会
H31.3.12	平成30年度中晩柑研修会	県南柑橘選果場	40	大分県柑橘研究会
H31.3.15	シャインマスカット若手生産者研修会	安心院	10	園芸活性化協議会
H31.3.27	ハウスミカン研修会	津久見市	5	中部局

(2) 受入研修

① 長期研修者受入

なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	75	362
団体等職員	27	39
改良普及指導員(公務員)	35	73
学生	4	14
海外研修者	1	20
その他	1	9
計	143	517

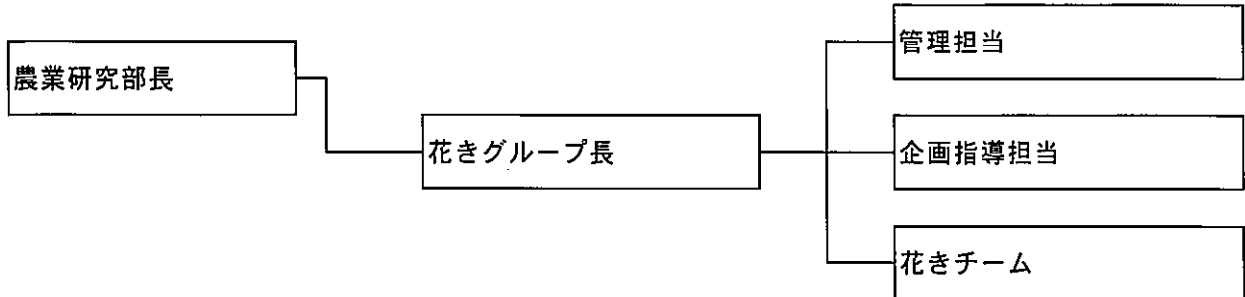
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ハウスミカン栽培における適正水分管理技術と省力・高収益栽培技術の開発	ハウスミカンの改植後の未収益期間の短縮と単収向上を図るため、垣根仕立ての栽培技術の普及を図る	杵築市の実証圃において、3年目収量6.8t/10aの収量が見込める葉数確保ができたが、4年目は、着花不足で加温停止となった。 新規導入圃3圃の生育は順調で葉数は確保。
若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成園化技術「ナシ流線型仕立」の確立	ナシの改植後の未収益期間の短縮と反収向上を図るため、流線型仕立ての栽培技術の普及を図る	流線型仕立ての栽培面積が70a(由布市 30a、日田市、30a、中津市10a)拡大した。 また、九州北部豪雨の被害圃の移設再編の協議が進んだ。

II-4 花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1					1	2	
企画指導担当			1					1	
花きチーム			7	2		1		10	(うち育休1)
計		1	9	2	0	1	1	14	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発
- ③花きの研究成果の現地普及
- ④優良種苗の供給
- ⑤花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

農業研究部 花きグループ

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・研究項目 ※「研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 新たな品目での統合環境制御による栽培技術開発				
1) キクの環境制御技術による品質向上と安定生産	花きチーム		H28~30	県単
・ 高収益栽培技術の開発			H30該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立			H30該当なし	
・ オリジナル品目の開発				
1) 遺伝資源を活用したオリジナル花きの育種と栽培技術の確立	花きチーム		H29~31	県単
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発				
1) 日本一のホオズキ産地を支える優良系統育種技術の開発	花きチーム		H29~31	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発				
1) マーケットニーズに対応した高収益生産技術の確立と新たな花き品目の探索	花きチーム		H30~32	県単
・ 鮮度、品質保持技術の開発				
1) 他産地の追随を許さない!ホオズキ栽培技術の確立	花きチーム		H29~31	県単
・ 難防除病害虫防除技術				
1) 花き類の難防除病害虫防除技術の構築	花きチーム		H30~32	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 統合環境制御技術の開発とマニュアル化				
1) スイートピーの安定生産技術の確立とオリジナル品種の育成	花きチーム		H28~30	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 杉皮パーク等地域資源の農業利用技術開発			H30該当なし	
・ 省エネルギー栽培技術、高生産システム技術開発			H30該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 戦略品目や推進品目の種苗管理供給及び系統選抜				
1) 優良種苗供給	花きチーム		長期	県単
・ 地域固有種の収集、保存			H30該当なし	
・ 葉草の特性把握、品種保存			H30該当なし	

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成29年度花きグループ試験成績書(CD版)	31.3.29	138	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

該当無し

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
30.9.12	園芸学会九州支部	甲斐克明・米澤円穂	キクの複合環境制御技術の検討 ～環境制御(ミスト噴霧と炭酸ガス施用)とEOD加温の効果～
30.11.7	九州病害虫研究会	米田恵美・富高保弘 ・石松敏樹	ホオズキモザイク病に対する種子乾熱 処理の防除効果



## (4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
九州沖繩農業試験研究推進会議 野菜花き推進部会 遺伝子研究連絡会	30. 10. 17～18	久留米市	1	19
農林水産研究指導センター研究状況報告会	30. 12. 18	県庁	1	58
九州沖繩農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	31. 1. 30～31	久留米市	3	43

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
30. 4. 5	J A 南部事業部キク部会病害虫研修会	佐伯市	25	南部振興局
30. 4. 20	J A 南部事業部スイートピー生産部会視察研修	花きグループ	9	南部振興局
30. 5. 10	J A 北部事業部スイートピー反省会・研修会	豊後高田市	12	北部振興局
30. 6. 8	スイートピー担当者会議	県農協	15	J A おおいた
30. 6. 8	J A 豊肥事業部花き部会久住支部女性部7/8/20/21/22研修	花きグループ	21	豊肥振興局
30. 6. 29	大分県チェリーピー生産部会出荷反省会	花きグループ	5	チェリーピー生産部会
30. 7. 6	農業高校農場主任会議	大分東高校	9	
30. 7. 13	農業大学校トルコギキョウ播種研修	花きグループ	3	農業大学校
30. 8. 16	ホオズキ播種研修会	花きグループ	25	地域農業振興課
30. 9. 6	ホオズキ弱毒ウイルス接種研修	日田市	2	西部振興局
30. 9. 13	ホオズキ弱毒ウイルス接種研修	花きグループ	3	北部・中部振興局
30. 11. 11	少量培地栽培現地研修	九重町	5	西部振興局
30. 10. 19	農業文化公園花き栽培研修	農業文化公園	7	大分園芸花市場
30. 10. 25	種苗連絡会ヤマジノギク品種説明会	全農おおいた	25	全農おおいた
30. 11. 6	お花屋さんグループ研修会	豊後大野市	10	豊肥振興局
30. 11. 19	大分市花き花木生産組合視察研修	花きグループ	16	大分市
30. 12. 6	トルコギキョウ栽培および斑点病対策研修会	杵築市	35	東部振興局
30. 12. 20	トルコギキョウ品種検討会	花きグループ	40	主催
31. 1. 11	ヤマジノギク担当者会議	花きグループ	15	地域農業振興課
31. 1. 30	多肉植物培養技術指導	花きグループ	5	中部振興局
31. 2. 20	三光地区トルコギキョウ品種検討会	中津市	8	北部振興局
31. 2. 28	J A 東部事業部花き生産者研修会	杵築市	40	J A おおいた東部事業部
31. 3. 5	J A 南部事業部キク部会試験成果・設計説明会	佐伯市	25	南部振興局
31. 3. 19	少量培地栽培トルコギキョウ栽培講習会	九重町	5	西部振興局

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ  
該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	12	155
団体等職員	5	12
普及指導員	24	58
学生	2	10
児童・生徒	1	90
海外からの視察者	4	23
その他	12	183
一般来場者	431	1788
計	491	2319

※大学

※小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
キク的环境制御技術による品質向上と安定生産	夏秋輪ギクで問題となる奇形花について、発生しにくい選抜系統の普及を図る。	当グループで選抜した奇形花が少ない系統の現地実証を行った結果、奇形花の発生はほとんど見られず、県内全域に普及した。
キク的环境制御技術による品質向上と安定生産	冬春輪ギクにおいて、労働力不足が顕著になっているため、当グループで選抜した腋芽の少ない系統の現地実証を行う。	試作の結果11月の腋芽の発生は少なかったが、12月以降は腋芽数が増えたため、本選抜系統に対する12月以降の温度管理を中心とした栽培管理方法の検討を行うこととした。
研究を支える基礎調査と優良種苗管理	ヤマジノギクの優良系統について、現地試作を行い評価を得る。	現地試験に供した5系統のうち特に評価が高かった2系統を31年度引き続き試作することとした。

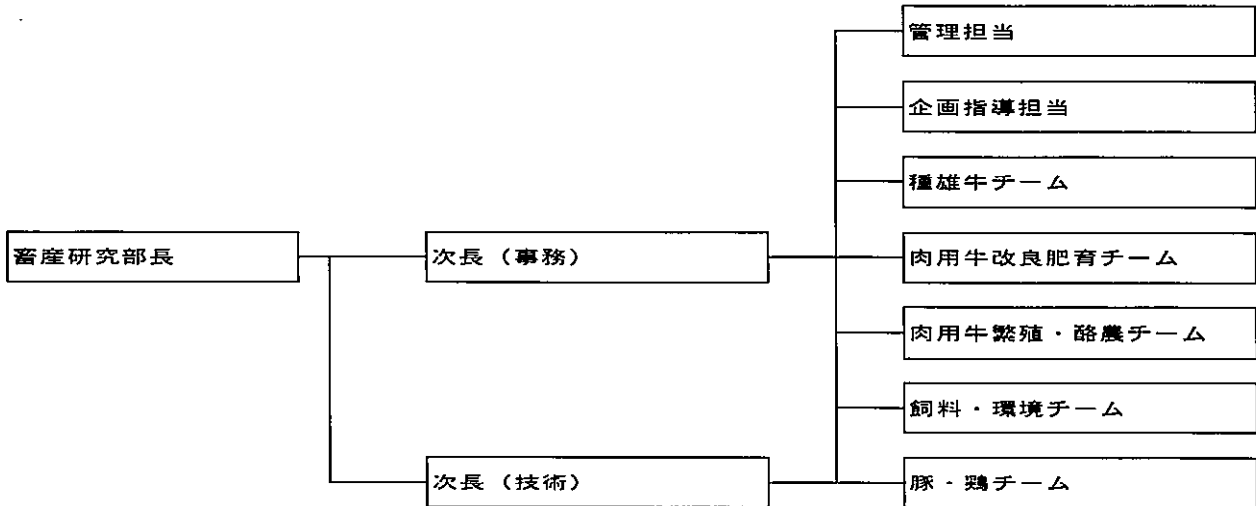
## Ⅱ-5 畜産研究部

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織

#### 1. 組織及び職員配置状況

##### (1) 組織



##### (2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	農業 技術員	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1	1					2	
管	理 担 当	4						4	
企 画 指 導 担 当	担 当		4					4	広域普及指導員2名
種 雄 牛 チーム	チー ム		2	1	2			5	
肉 用 牛 改 良 肥 育 チーム	チー ム		3	1	2	1		7	
肉 用 牛 繁 殖 ・ 肥 育 チーム	チー ム		5	6	1			12	
飼 料 ・ 環 境 チーム	チー ム		4	2	1			7	
豚 ・ 鶏 チーム	チー ム		6	2	3			11	
計		5	26	12	9	1	0	53	

##### (3) 業務

- ① 肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ② 肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③ 乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④ 牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤ 豚の育種、飼養技術並びに精液供給
- ⑥ 家ぎんの育種並びに飼養技術

2. 試験研究課題

畜産研究部				
試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、1中課題・研究項目 ※「研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 肉用牛・酪農の生産性向上と粗飼料基盤確立のための技術開発				
1) 黒毛和種における短期肥育技術の確立	肉用牛繁殖・酪農	大分家保	H29～30	県単
2) 和牛肥育期間の大幅な短縮技術の開発	肉用牛繁殖・酪農	農研機構、関係各県・大学等	H28～32	国庫
3) 周年親子放牧に適した牧草種の選定及び冬季飼料資源の開発	飼料・環境	農研機構、関係各県	H28～32	国庫
4) コントラクターを軸とした粗米サイレージの広域流通体制の構築と利用技術の開発	飼料・環境	農業公社やまくに、梓原市2229協議会	H28～30	県単
・ ICTを活用したワークライフバランスを実現する技術の開発				
1) 乳用牛における分娩間隔の短縮に向けた発情検知システムの開発	肉用牛繁殖・酪農	農研機構、産総研、産科任、リモート	H30～32	県単
2 ブランド化のための技術開発				
・ 「おおいた豊後牛」銘柄確立のための優秀種雄牛の造成			H30該当なし	
・ 生産者の所得向上を目指した「スーパー母豚」自農場作出システムの構築				
1) 食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のリノレン酸含有率向上技術の確立	豚・鶏		H28～30	県単
・ 優秀種豚造成のための豚凍結精液等の技術の開発			H30該当なし	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・ 高品質で安全性の高い牛肉生産を支える技術開発による美味しい「おおいた豊後牛」肥育技術の確立			H30該当なし	
・ 「Theおおいたブランド」※農産物を飼料に活用した「おおいた冠地どり」の銘柄強化			H30該当なし	
・ 高付加価値地鶏の作出				
1) 商品性の高い「おおいた冠地どり」を支える増体向上技術の開発	豚・鶏		H30～32	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 牛の受胎率向上技術の開発				
1) 液状精液を活用した牛の受胎率向上技術の開発～牛の液状精液用精液稀釈液の開発～	種雄牛		H28～30	県単
2) 生産者の所得向上を目指した雌雄産み分け技術の確立	肉用牛繁殖・酪農、豚・鶏	広島大学	H30～32	県単
・ 最新繁殖技術を支える受精卵移植技術の開発				
1) 乳用種育成牛由来の雌受精卵による効率的後継牛確保対策	肉用牛繁殖・酪農		H29～30	県単
・ 地鶏の遺伝子保存による安定生産及び安定供給			H30該当なし	
・ 県産粗飼料の品質の強化			H30該当なし	
・ 堆肥を活用した自給飼料基盤拡大のための技術開発			H30該当なし	
・ 新草種等の栽培・貯蔵技術の開発			H30該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 低コスト経営のための未利用資源を活用した飼料開発				
1) 未利用「麦焼酎粕ケーキ」混合物の飼料化技術の開発	飼料・環境	大分家保	H30～32	県単
・ 未利用資源の活用による豚ブランド力の強化			H30該当なし	
・ 家畜利用の農村環境保全			H30該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 優秀種雄牛の造成				
1) 種雄牛検定				
(1) 直接法	肉用牛改良肥育		長期	県単
(2) 現場後代法	肉用牛改良肥育		長期	県単
2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	肉用牛改良肥育	家畜改良センター、関係各県	長期	県単
・ 牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定				
1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験				
(1) とうもろこし	飼料・環境	九州沖縄農研・九州各県	長期	県単
(2) イタリアンライグラス	飼料・環境	九州沖縄農研・九州各県	長期	県単
(3) ソルガム	飼料・環境	九州沖縄農研・九州各県	長期	県単
(4) 暖地での周年グラス体系向きソルガムおよびイタリアンライグラスの耐病性品種の育成	飼料・環境	九州沖縄農研・九州各県	H26～30	国庫
・ 高品質豚生産のための種豚改良 L・W・Dの系統維持・増殖				
1) 原種豚の改良維持及び増殖				
(1) ランドレース種の系統維持・増殖	豚・鶏		長期	県単
(2) 大ヨークシャー種の改良増殖	豚・鶏		長期	県単
(3) デュロック種の能力維持	豚・鶏		長期	県単
・ 原種禽の系統維持及び増殖				
1) 原種禽の系統維持及び増殖				
(1) 「豊のしゃも」原種鶏	豚・鶏	熊本農研、畜種審試	長期	県単
(2) 「おおいた冠地どり」原種鶏	豚・鶏		長期	県単
(3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏	豚・鶏		長期	県単

## 3. 研究成果の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	
大分県種雄牛名簿・肉用牛現場後代検定成績	H30. 6. 1	1	2,000	
2018大分県黒毛和種 種雄牛	H30. 8. 1	23	1,000	畜産研究部監修

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
池田正一	研究所だより 大分県農林水産研究指導センター畜産研究部	畜産技術	761号	24-25
佐藤文明	研究紹介 大分県の畜産情勢と試験研究	日本暖地畜産学会報	第62巻 第1号	1-2
森本剣介	乳牛の体温動態に応じた暑熱対策の検討	Dairy Japan	第64巻 第5号	38-41

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30. 7. 27	平成30年度 農研機構国際シンポジウム「土地利用型肉牛生産の持続的発展に向けて」	木村 誠司	大分県における「レンタカウ」の取り組み
H30. 9. 12	第81回 九州農業研究発表会専門部会(畜産部会)	久々宮萌果	酪農生産基盤強化に向けた黒毛和種体外受精卵生産技術の確立
		阿南加治男	「おおいた冠地どり」原種鶏精液の凍結保存
H30. 9. 20	第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会	飯田 賢	ゲノム育種価を活用した種雄牛造成
H30. 10. 21	日本暖地畜産学会長崎大会	森本 剣介	乳牛の体温動態に応じた暑熱対策の検討
H30. 11. 16	平成30年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	小倉 初音	コントラクターを軸としたもみ米サイレージの貯蔵及び利用技術の検討
		榎園 秀平	肥育前期飼料のNDF・CPレベルが肥育牛に与える影響についての考察
		鳥羽 菜摘	大分県における「レンタカウ」の取り組み
		阿南加治男	「おおいた冠地どり」原種鶏精液の凍結保存

## (4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会 ※再掲：(3) 研究会、学会等での発表	H30. 9. 20	県庁舎本館 91会議室	1	50
平成30年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会 ※：再掲(3) 研究会、学会等での発表	H30. 11. 16	大分県庁 正庁ホール	4	100

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催(1/2)

## ア 受託研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.5.28	家保職員保定・採血技術研修	部内(三重)	13	畜産振興課
H30.6.20	家保職員繁殖技術研修	部内	10	畜産振興課
H30.6.27	家保職員繁殖技術研修	部内	9	畜産振興課
H30.8.6	獣医系学生インターンシップ研修	部内	2	畜産振興課
H30.8.20	獣医系学生インターンシップ研修	部内	4	畜産振興課
H30.8.27	獣医系学生インターンシップ研修	部内	4	畜産振興課
H30.8.29	学生インターンシップ研修	部内	2	畜産振興課
H30.9.10	獣医系学生インターンシップ研修	部内	3	畜産振興課
H30.9.10-14	大分県畜産協会新採職員現場実地研修	部内	2	大分県畜産協会
H30.11.5	家畜人工授精講習会	部内	15	畜産振興課

## イ 視察研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.6	杵築市和牛改良組合視察研修会	部内	11	杵築市和牛改良組合
H30.4.20	島根県能義和牛育種組合種雄牛視察	部内	6	島根県能義和牛育種組合
H30.5.9	大分県畜産公社職員視察	部内	2	大分県畜産公社
H30.5.24	(株)大地社員研修	部内	4	畜産振興課
H30.5.25	大分大医学部職員視察	部内	1	本人
H30.5.29	農業大学校学生視察研修	部内	13	大分県立農業大学校
H30.5.31	副知事視察	部内	11	センター本部
H30.6.8	九州大学農学部学生視察研修	部内	26	九州大学農学部
H30.6.14	酪農を守る母ちゃんの会視察研修	部内	8	(有)はみんぐ・まむ
H30.6.25	直入町畜産女性部視察研修	部内	6	
H30.6.27	大野町和牛女性部視察研修	部内	10	大野町和牛女性部
H30.7.10	島根県雲南農業振興協議会視察研修	部内	25	雲南農業振興協議会
H30.7.13	九州大学農学部学生視察研修	部内	20	九州大学農学部
H30.7.25	畜産研究部業務聞き取り	部内	4	竹田市立久住小学校
H30.9.4	JA延岡和牛部会視察研修	部内	30	延岡農業協同組合
H30.9.10	九州大学農学部学生視察研修	部内	34	九州大学農学部
H30.9.13	玖珠肉用牛育種改良組合視察研修	部内	20	玖珠肉用牛育種改良組合
H30.10.18	(株)大地社員研修	部内	7	畜産振興課
H30.11.14	かぼす大使視察	部内	38	大分合同新聞社
H30.11.30	竹田肉用牛女性部視察研修	部内	25	竹田肉用牛女性部
H30.12.4	三重町・犬飼町和牛振興会合同視察研修会	部内	20	三重町及び犬飼町和牛振興会
H30.12.14	鳥取県畜産試験場職員視察	部内	2	鳥取県畜産試験場
H30.12.18	東部肉用牛育種改良組合視察研修	部内	15	東部肉用牛育種改良組合
H31.1.18	竹田市和牛振興会久住支部視察研修	部内	20	竹田市和牛振興会久住支部
H31.1.19	飯田農協畜産振興会視察研修	部内	20	飯田農協畜産振興会
H31.2.26	杵築市肉用牛育種改良組合研修会	部内	10	杵築市肉用牛育種改良組合
H31.3.25	(株)大地社員研修	部内	6	畜産振興課
H31.3.28	山香町和牛改良組合視察研修	部内	10	山香町和牛改良組合
H31.3.29	竹田市和牛振興会視察研修	部内	30	竹田市和牛振興会

## ウ 講師派遣(1/2)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.3	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.4.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.4.10	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.4.17	豊肥、南部地域精液譲渡及び家畜人工授精台帳検査	竹田市	30	
H30.5.2	竹田市精液譲渡及び家畜人工授精台帳検査	竹田市	30	
H30.5.8	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.5.10	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.5.14	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.5.17	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.6.4	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.6.5	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.6.11	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.6.18	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.7.3	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.7.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.7.10	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.7.13	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.7.18	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.7.18	竹田市畜産共進会(直入地域)	竹田市	60	竹田市畜産振興協議会
H30.7.20	県家畜人工授精師協会研修会	別府市	50	県家畜人工授精師協会
H30.7.24	竹田市畜産共進会(竹田地域)	竹田市	60	竹田市畜産振興協議会
H30.8.2	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.8.3	竹田市畜産共進会(久住地域)	竹田市	60	竹田市畜産振興協議会
H30.8.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.8.8	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	

## (1) 講習会、研修会等の開催(2/2)

## ウ 講師派遣(2/2)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.8.20	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H30.8.22	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H30.9.5	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.9.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.9.10	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.9.12	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.9.14	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H30.9.18	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H30.10.2	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.10.5	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.10.6	県共(肉用牛の部)	豊後大野市	100	
H30.10.11	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.10.14	県共(種畜の部)	別府市	150	
H30.10.17	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H30.10.18	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H30.10.25	県共(乳用牛の部)	大分市	100	
H30.11.2	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.11.2	豊肥、南部地域精液譲渡(臨時)	竹田市	20	
H30.11.5	東部地域精液譲渡(臨時)	日出町	20	
H30.11.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.11.8	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.11.9	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.11.16	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H30.11.19	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H30.11.21	大分県肉用牛技術者連絡協議会研修会	別府市	32	県肉用牛技術者連絡協議会
H30.12.4	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H30.12.7	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.12.11	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.12.18	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H30.12.19	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H31.1.8	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H31.1.10	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H31.1.15	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H31.1.16	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H31.1.21	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H31.1.22	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H31.1.31	大分県西部家畜人工授精師会研修会	玖珠町	20	県西部家畜人工授精師会
H31.2.4	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H31.2.5	豊後大野市肉用牛振興大会	豊後大野市	150	県農協豊後大野市和牛振興会等
H31.2.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H31.2.8	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H31.2.18	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H31.2.19	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H31.2.22	豊後大野市家畜人工授精師協会研修会	豊後大野市	20	豊後大野市家畜人工授精師協会
H31.3.1	竹田市畜産座談会(直入地区)	竹田市	90	
H31.3.4	竹田市精液譲渡	竹田市	30	
H31.3.4	竹田市畜産座談会(竹田地区)	竹田市	100	
H31.3.5	中部地区肉用牛研修会	由布市	50	中部地区食料・農業・農村振興協議会
H31.3.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H31.3.8	竹田市畜産座談会(久住地区)	竹田市	100	
H31.3.8	北部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H31.3.13	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H31.3.15	豊肥、南部地域精液譲渡	竹田市	20	
H31.3.18	東部地域精液譲渡	日出町	20	
H31.3.20	竹田市畜産座談会(荻地区)	竹田市	30	

## (2) 受入研修

## ① 長期研修受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
若杉 晃平	九重町	大分県立農業大学校 就農準備研修畜産コース	4月6日～3月5日
受講者15名	県内	家畜人工授精(牛)講習会	11月5日～12月4日

## ② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	16	266
団体等職員	12	71
普及指導員	0	0
学生	9	108
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	1	38
計	38	483

※大学  
※小中高校

## (3) 指導・研修プロジェクトの実証

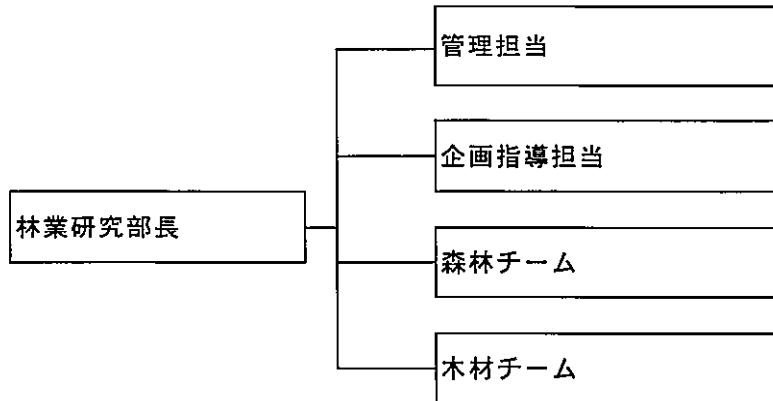
課題名	目的	現地実証等の概要
焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を活用した肉用子牛育成技術の開発	焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を給与した牛肉生産の増大を図る。	焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料給与牛の出荷農場数は2農場となった。
イタリアンライグラスの中生優良品種「タチサカエ」	畜産農家における自給飼料生産の拡大。	杵築市及び豊後高田市で各50aの実証展示圃を設置。既存自給飼料及び購入飼料の飼料分析と栄養比較を行い、講習会及び農業団体情報誌にて紹介を行った。
県有種雄牛「安森照号」「平福安号」「陸美幸号」の凍結精液譲渡推進にかかる産子調査および肥育牛の産肉性状況調査	「安森照号」「平福安号」「陸美幸号」は現場後代検定で優秀な成績をおさめた種雄牛であり、より一層の利用促進を図るため、精液譲渡家畜市場での産子調査に加え、肥育現場での産肉性の特徴を調査する。	種雄牛3頭の平成30年度精液譲渡本数は3,788本で、前年比103%に増加した。「平福安号」については去勢牛の子牛市場平均価格は741千円、去勢牛枝肉711頭の平均成績はロス芯面積61.8cm <sup>2</sup> 、BMS.No7.3であった。
「おおいた冠地どり」の銘柄確立と出荷羽数の拡大	「おおいた冠地どり」の銘柄確立と出荷羽数の拡大を図る。	育成率及び出荷体重改善のため、生産者団体への飼養管理講習会を2回、農家巡回を4回行った結果、育成率は93%から94.6%へ、出荷体重は2.9kgから3.04kgへ向上した。



## II-6 林業研究部

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
部 管	理 担	2	1					1	
企 画	指 導 担		3 (1)					2	
森 林	チ ーム		5			1		3 (1)	(兼) 林務管理課 広域普及指導員 1名
木 材	チ ーム		6 (1)					6	(兼) 産業科学技術センター製品 開発支援担当主幹研究員 1名
	計	2	15 (2)	0	0	1	0	18 (2)	

#### (3) 業務

- ① 育種・育林技術の開発に関する試験研究
- ② 環境を守る森林整備に関する試験研究
- ③ 県産材の需要拡大に関する試験研究

2. 試験研究課題

林業研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1中課題 ・研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ ICT技術を活用した高生産システムの開発				
1) 森林情報新技術活用推進事業	森林チーム	なし	H28～30	国庫・県単
・ 非住宅や高層建築の木造・木質化の推進を図る新たな木質材料の開発				
1) 一般流通製材を用いた大断面柱材の開発	木材チーム	なし	H29～30	県単
・ CLT等大型木造建築物への接合技術※(GIR、LSB等)の開発			H29該当なし	
・ スギ・ヒノキ材の不燃技術の開発			H29該当なし	
・ セルロースナノファイバー※等を活用した新素材の開発			H29該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ 造林樹種における優良品種の選抜				
1) スギ奨励品種さし木苗の増産に関する研究Ⅱ	森林チーム	なし	H30～32	県単
2) 次世代の森林づくりに向けたヒノキ優良品種の選抜	森林チーム	なし	H29～31	県単
・ 低コスト育林技術の開発・実証			H29該当なし	
・ ブランド化を目指したオール県産材家具、工芸品の開発			H29該当なし	
・ 遺伝子工学を利用した品種改良			H29該当なし	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・ 造林樹種における優良品種の選抜			H29該当なし	
・ スギ大径材の効率的な製材・乾燥技術の開発				
1) 非住宅分野の木造化に対応する大断面製材品の強度性能評価	木材チーム	なし	H30～32	県単
2) 寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発	木材チーム	なし	H30～32	県単
・ 枠組壁工法への県産スギ・ヒノキ利用技術の開発			H27該当なし	
・ 土場・市場等での丸太選別技術(強度/含水率等)の開発			H28該当なし	
・ 中・大規模木造建築物等の維持管理技術(居住性・耐久性等)の開発			H29該当なし	
・ マイクロ波等を活用した高速・高品質乾燥技術の開発				
1) 内装・家具に最適な県産材乾燥技術の開発	木材チーム	なし	H29～30	県単
・ 早生樹等の材質特性(強度・加工・耐久性能)と利用技術の開発			H29該当なし	
・ 薬用系機能性樹木の栽培技術の開発			H29該当なし	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ スギ挿し木苗の増産技術の確立			H29該当なし	
・ ロボット等作業負荷軽減システムの開発			H29該当なし	
・ 早生品種の選抜と育林技術の確立システムの確立			H29該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 森林病虫害対策			H29該当なし	
・ 強毒性センチウに対応する抵抗性マツの選抜			H29該当なし	
・ 伐採が及ぼす公益的機能への影響調査			H29該当なし	
・ 災害に強い森林づくり技術の確立			H29該当なし	
・ シカ捕獲対策の推進				
1) 再造林に欠かせないシカ害防除技術の確立	森林チーム	なし	H30～32	県単
・ 県産材の抽出成分(精油等)利用技術の開発			H29該当なし	
・ 竹材・未利用材の有効活用技術の開発			H29該当なし	
・ 県産広葉樹を活用した木育製品の開発と普及			H29該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ スギ雄花着生状況調査(花粉飛散量予測と雄花生産量の把握)				
1) スギ花粉発生源地域推定事業	森林チーム	なし	H30	委託 (全特産)
・ 森林病虫害モニタリング(カシノナガキクイムシ等)			H29該当なし	
・ 優良種穂供給と苗木生産者への技術支援			H29該当なし	

## 3. 研究成果の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成29年度林業試験場年報(第60号)	H30.5	66	200
スギさし木苗増産に向けた採穂・育苗方法	H30.8	4	200
林研だより(第80号)	H31.1	7	HP
スギ大径材の有効利用技術 心去り構造材	H31.3	10	HP

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
河津 渉	大分県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究	公立林業試験研究機関研究成果選集	No. 16 (2019)	75-76頁

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.10.27	第74回九州森林学会大会	松本純 亀井淳介	大分県におけるスギの樹高成長に影響を及ぼす諸要因に関する考察
H30.10.27	第74回九州森林学会大会	姫野早和	スギミニ穂の秋期密閉さし試験
H30.10.27	第74回九州森林学会大会	豆田俊治	自動撮影カメラによるシカ誘引効果の検証について

## (4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成30年度 企業技術研修	H30.5.30	林業研究部	講演：1課題	40
平成30年度第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会	H30.9.20	県庁舎本館	発表：1課題	30
平成30年度 農林水産研究指導センター 林業研究部 研究発表会	H31.2.14	林業研究部	口頭発表：3課題	77

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.5.24	SSH指定校・大分県立日田高等学校 「強度試験機を用いた強度測定手法」	林業研究部	4	大分県立日田高等学校
H30.7.4 H30.7.11 H30.7.18	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	58	大分県立農業大学校
H30.8.23	おおいた林業アカデミー 「ドローンと森林利用」	大分県林業研修所	6	(公財)森林ネットおおいた
H30.9.14	林業種苗生産事業者講習会	大分県庁	20	大分県
H30.9.26	SSH指定校・大分県立日田高等学校 「日田の林業に関する探求活動」	林業研究部	30	大分県立日田高等学校
H30.9.27 H30.9.28	試験研究機関における実践研修	林業研究部	8	大分県
H30.10.19	おおいた林業アカデミー 「製材技術」	林業研究部	6	(公財)森林ネットおおいた
H30.10.24	林業全般基礎研修Ⅱ(前期)	林業研究部 きのこグループ	13	大分県
H30.10.25	フォレストワーカー集合研修(3年目)	大分県林業研修所	18	(公財)森林ネットおおいた
H30.11.8	林業全般基礎研修Ⅱ(後期)	林業研究部	7	大分県
H30.11.26	苗木生産初心者研修	大分県林業研修所	20	(公財)森林ネットおおいた
H31.2.15	スマート林業を実現するICT技術の現状 について～ドローンの活用～	大分西部森林管理署	20	大分西部森林管理署
H31.3.6	木材・林業セミナー 木材乾燥について	佐伯広域森林組合	40	佐伯広域森林組合
H31.3.18	大分のスマート林業事例報告会	大分県林業会館	70	大分県

## (2) 受入研修

## ① 長期研修受け入れ

該当なし

## ② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	42	56
団体等職員	57	315
普及指導員	22	54
学生	1	58
児童・生徒	2	34
海外からの視察者	0	0
その他	76	246
計	200	763

③ 企業支援

区 分	件 数	金 額 (円)
依 頼 試 験	44	850,095
機 械 貸 付	593	658,890
技 術 相 談	173	—
企 業 訪 問	46	—

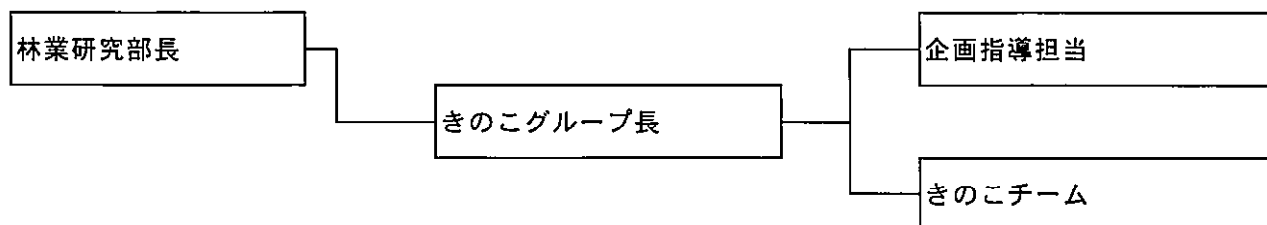
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
早生有用広葉樹等を活用した短伐期林業に関する研究	短伐期林業に適すると期待される早生樹の導入を推進する。	県西部において、「おおいた早生樹研究会」の運営を支援し、実証林地への植栽と生長量調査を実施すると共に、コウヨウザンの育林と活用に取り組む広島県を調査し、早生樹普及のための情報収集を行った。

## II-7 きのごグループ

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
企画指導担当			3					3	広域普及指導員2名
きのごチーム			5			1		6	
計		0	9	0	0	1	0	10	

#### (3) 業務

- ① シイタケを始めとするきのご類の栽培技術の改善・開発
- ② 栽培きのご類の育種技術による品種の改良・開発
- ③ 温暖化に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発
- ④ クヌギチップを利用した菌床シイタケ及びキクラゲ栽培技術の研究
- ⑤ 病害虫等の防除技術の研究・普及
- ⑥ きのご類の分類・同定
- ⑦ 有用きのご類の遺伝子収集・保存による育種素材の確保
- ⑧ 研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑨ 新規参入者の研修・技術指導
- ⑩ 栽培技術情報の収集・管理と情報発信

## 2. 試験研究課題

林業研究部 きのごグループ				
試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I大課題、 1中課題・研究項目	チーム	機関	期間	区分
※「研究項目」以下の区分: 1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ しいたけ栽培における省エネルギー及び施設利用技術の開発				
1) LEDを活用した菌床シイタケ栽培技術の改善	きのご	九州大学	H30~32	県単
・ しいたけ栽培の軽労働化技術の開発				
			H30該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ きのご類のブランド化に向けた品種開発				
1) 有用きのご類の品種改良				
(1) シイタケの優良品種の開発	きのご		H26~(30)	県単
(2) ナメコの優良品種の開発	きのご		H26~(30)	県単
(3) マーカー利用選抜による気候変動に適応した菌床栽培用シイタケ品種の開発	きのご	森林総合研究所	H28~32	国庫
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ しいたけの食味や機能性等の食品としての特性評価				
1) 県産乾シイタケの味覚と機能性に関する研究	きのご	女子栄養大学	H28~30	県単
2) 農林水産物の輸出拡大のためのきのご類の品質向上			H30該当なし	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ しいたけの生産力強化に向けた技術開発				
1) シイタケの原木栽培技術の確立				
(1) 乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発	きのご		H26~30	県単
(2) 原木シイタケの単収向上を目指した2年目発生操作技術の開発	きのご		H29~32	県単
(3) 原木生シイタケ栽培における冬期の生産量向上技術に関する研究			H30該当なし	
(4) 温暖化に対応した 乾シイタケ栽培技術の開発	きのご		H30~33	県単
2) きのご類の病虫害防除技術の確立				
(1) きのご類栽培における害虫類の生態解明と防除技術			H30該当なし	
(2) 高品質シイタケ安定生産に向けた天敵利用によるケミカルレスな害虫	きのご	森林総合研究所	H28~30	国庫
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ クヌギチップや食品加工副産物等を利用したきのご類栽培技術の確立				
1) 地域資源を活用した新たなきのご栽培に関する研究	きのご		H28~30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 野生きのご類の遺伝子収集と保存				
	きのご		H元~	県単

## 3. 研究成果の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
林業研究部きのごグループ業務年報(第29号)	H30年1月	65	250
情報誌「くらんぶ」第49号(設立30周年記念号)	H30年12月	15	2,000

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
山下和久・大山正則	原木シイタケ栽培初級編これから始める方へ～技術経営の基本～	林業新知識	5月号	4-15
上野美奈子	原木シイタケ栽培初級編② 栽培技術と年間スケジュール	林業新知識	6月号	4-15
飯田千恵美・有馬 忍・ 伊藤夏林・大賀祥治	乾シイタケのエルゴチオネイン含有量に及ぼす 紫外線の影響	九州森林研究	72	115-117
彌田涼子・有馬 忍	菌床シイタケ栽培における夏期発生温度の検 討	公立林業試験研究 機関研究成果選集	16	91-92

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.8.4	第20回応用薬理シンポジウム	宮澤紀子・飯田千恵美・有馬 忍・江口文陽	乾シイタケの採取時期が機能性と嗜好性に与え る影響
H30.9.13	日本きのこ学会第22回大会	石原 宏基・小坂 肇・北島 博	昆虫病原性線虫製剤によるホダ木内ハラ アカコブカミキリ幼虫・成虫防除の検討
H30.9.13	日本きのこ学会第22回大会	飯田 千恵美・有馬 忍・宮 澤 紀子・江口 文陽	大分県産シイタケの品柄の違いが嗜好特 性に及ぼす影響
H30.9.13	日本きのこ学会第22回大会	後藤 史和・山内 隆弘・彌 田 涼子・木下 晃彦・宮崎 和弘・田中 徳夫	選抜用DNAマーカーを活用したシイタケ の高温発生菌株作出の試みについてⅡ ー育種母材菌株(KV-92)から優良一核 菌糸菌株の選抜ー
H30.10.27	第74回九州森林学会大会	飯田 千恵美・有馬 忍・伊 藤 夏林・大賀 祥治	紫外線照射による乾シイタケ中のエルゴ チオネインの増加
H30.10.27	第74回九州森林学会大会	十時 しおり・石原 宏基・飯 田 千恵美	アラゲキクラゲ菌床栽培の実証試験につ いて
H31.3.14	第69回日本木材学会	藤田 智彦・飯田 千恵美・ 有馬 忍・江口 文陽・宮澤 紀子	採取時期の異なる大分県産乾シイタケの 嗜好特性と抗酸化作用の解析
H31.3.15	第69回日本木材学会	宮澤紀子・飯田千恵美・有馬 忍・江口文陽	大分県産乾シイタケに含まれるミネラル成 分の調理による挙動

## (4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
設立30周年記念きのこグループ研究発 表会	H30.12.13	きのこグループ	記念講演 1 研究発表 4 体験発表 3	110
平成30年度第2回農林水産研究指導セ ンター研究状況報告会 (菌床シイタケ栽培における省エネル ギー対策-夏期発生温度の検討-)	H30.12.18	県庁舎本館 91会議室	1	



## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催

ア. 林業普及指導員研修				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.6.11	普及員養成試験研究実践研修(乾シイタケ1)	OSK、林業会館	7	林務管理課
H30.7.6	普及員養成試験研究実践研修(乾シイタケ2)	きのこグループ	6	林務管理課
H30.7.9	普及員養成試験研究実践研修(生シイタケ1)	きのこグループ	5	林務管理課
H30.8.28	普及員養成試験研究実践研修(生シイタケ2)	きのこグループ	4	林務管理課
H30.8.29	普及員養成試験研究実践研修(生シイタケ3)	きのこグループ	4	林務管理課
H30.11.19	普及員養成試験研究実践研修(乾シイタケ3)	きのこグループ、佐伯市	4	林務管理課
H30.11.20	普及員養成試験研究実践研修(乾シイタケ4)	きのこグループ、佐伯市	4	林務管理課
H31.2.20	普及員養成試験研究実践研修(乾シイタケ5)	きのこグループ、佐伯市	4	林務管理課
			38	
イ. 林業普及技術習得研修				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.10.4	林業全般基礎研修(Ⅱ)前期	きのこグループ	5	林務管理課
H30.10.10	広域普及員プロジェクト研修	きのこグループ	9	
H30.10.23	林業全般基礎研修(Ⅰ)後期	きのこグループ	12	林務管理課
			26	
ウ. 大分しいたけ源兵衛塾(第10期)				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.7.25	大分しいたけ源兵衛塾開校式、第1回研修会	きのこグループ	33	林産振興室
H30.8.22	大分しいたけ源兵衛塾第2回研修会	きのこグループ	41	林産振興室
H30.10.24	大分しいたけ源兵衛塾第3回研修会	国東市、豊後高田市	28	林産振興室
H31.2.19	大分しいたけ源兵衛塾第4回研修会	きのこ、豊後大野市	29	林産振興室
			131	
エ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.8.27	第1回大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	西部振興局、日田市	10	西部振興局
H30.9.9	第1回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	44	林産振興室
H30.10.21	第2回しいたけ栽培新規参入者研修会(県北地域)	林業研修所	17	林産振興室
H30.10.28	第2回しいたけ栽培新規参入者研修会(県南地域)	きのこグループ	25	林産振興室
H30.11.7	しいたけ版ファーマーズスクール合同研修会	北部振興局、安心院町	13	林産振興室
H31.1.24	第2回原木しいたけステップアップ研修会	北部振興局、安心院町	38	北部振興強・東部振興局
H31.2.24	第3回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	39	林産振興室
H31.2.27	第2回大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	西部振興局	12	西部振興局
H31.3.10	第4回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	40	林産振興室

オ. きのこ生産研修				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.10	おのぼり会研修会	竹田市直入支所	18	豊肥振興局
H30.4.20	プレミアム原木生椎茸出荷報告会	エイトピア大野	46	
H30.6.26	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会第1回通常総会及び研修会	JA大分豊肥事業部	54	
H30.7.12	中津市原木生しいたけ研究会研修会	中津市	7	北部振興局
H30.7.20	しいたけ原基塾第1回研修会	豊肥局、竹田市神原	21	豊肥振興局
H30.8.2	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会県南支部会議	JA大分豊後大野支所	9	林産振興室・森産業
H30.8.21	大分生しいたけ生産流通懇談会総会及び研修会	きのこグループ	17	
H30.9.11	おのぼり会研修会	竹田市直入支所	19	豊肥振興局
H30.9.13	OSK県南地区小組合連合会秋期栽培研修会	きのこグループ	76	OSK県南支部
H30.10.26	大分県原木生椎茸出荷推進事業部会出荷検討会	大銀ドーム会議室	68	林産振興室・森産業
H30.11.6	中津市原木生しいたけ研究会研修会	中津市	8	北部振興局
H30.11.6	イノベーション事業研究成果研修会	きのこグループ	21	
H30.12.13	設立30周年記念きのこグループ研究発表会	きのこグループ	120	しいたけ原基塾第2回研修会を含む
H31.1.16	大分県椎茸農協久大地区連合会日田分会総会・研修会	日田市	35	OSK
H31.2.13	第56回安心院町椎茸生産組合通常総会・講演会	宇佐市安心院支所	34	安心院町椎茸生産組合
H31.2.21	OSK竹田地区女性部研修会	OSK竹田支部	36	OSK竹田地区女性部
H31.2.26	しいたけ原基塾第3回研修会	きのこグループ、宇目町	22	豊肥振興局
H31.3.26	玖珠九重農協乾椎茸部会視察研修	きのこグループ	8	
				619
カ. 人材育成研修等				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.5.31	農業大学校研修生視察研修	きのこグループ	17	
H30.9.12	農業大学講義	きのこグループ	16	
H30.9.19	農業大学講義	きのこグループ	11	
H30.12.26	ふるさと「しごと」フォーラム	ホルトホール	25	大分県教育庁
				69
キ. 関係団体総会・会議				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.6.8	椎茸技術者会議	きのこグループ	15	

ク. 品評会関係				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.16	第10回竹田市乾椎茸品評会審査会	OSK竹田支部	14	
H30.4.17	東部地区椎茸品評会審査会	国東市役所安芸支所	10	
H30.4.17	第7回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	25	
H30.4.19	豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市役所	9	
H30.4.20	平成30年度豊後高田市椎茸生産組合通常総会・品評会表彰式	豊後高田市役所	28	
H30.4.26	第14回佐伯市乾椎茸品評会審査会	OSK県南支部	12	
H30.5.7	第61回大分県乾椎茸品評会審査会(箱物)	OSK流通センター	23	林産振興室、OSK
H30.5.15	第61回大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK低温倉庫	41	林産振興室、OSK
H30.5.16	第61回大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK低温倉庫	41	林産振興室、OSK
H30.5.17	中津市乾椎茸品評会審査会	中津市耶馬溪支所	10	
H30.11.26	第30回大分県生しいたけ品評会審査会	大分市	26	林産振興室
H30.11.27	第30回大分県生しいたけ品評会表彰式・講演会	大分市	82	林産振興室
H31.1.15	竹田市ほだ場コンクール審査会	竹田市	14	
H31.2.18	JAおおいた中西部事業部天瀬支所生椎茸品評会及び研修会	JA天瀬支部	14	
			325	
ケ. 一般消費者関係				
開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.7.12	豊後大野市新田小学校シイタケ授業	きのこグループ	13	豊肥振興局
H30.10.13	大分県農林水産祭	別府市	400	大分県農林水産部
H30.10.14	大分県農林水産祭	別府市	500	大分県農林水産部
H30.10.16	生しいたけ旬入り宣言式	大分市公設卸売市場	75	林産振興室
H30.11.10	農業大学校祭	豊後大野市	80	農業大学校
H31.2.23	生しいたけ販売促進活動(副知事トップセールス)	京都市	60	林産振興室

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ  
該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	27	857
団体等職員	0	0
普及指導員	11	64
学生	4	69
児童・生徒	1	13
海外からの視察者	0	0
その他	0	0
合計	43	1,003

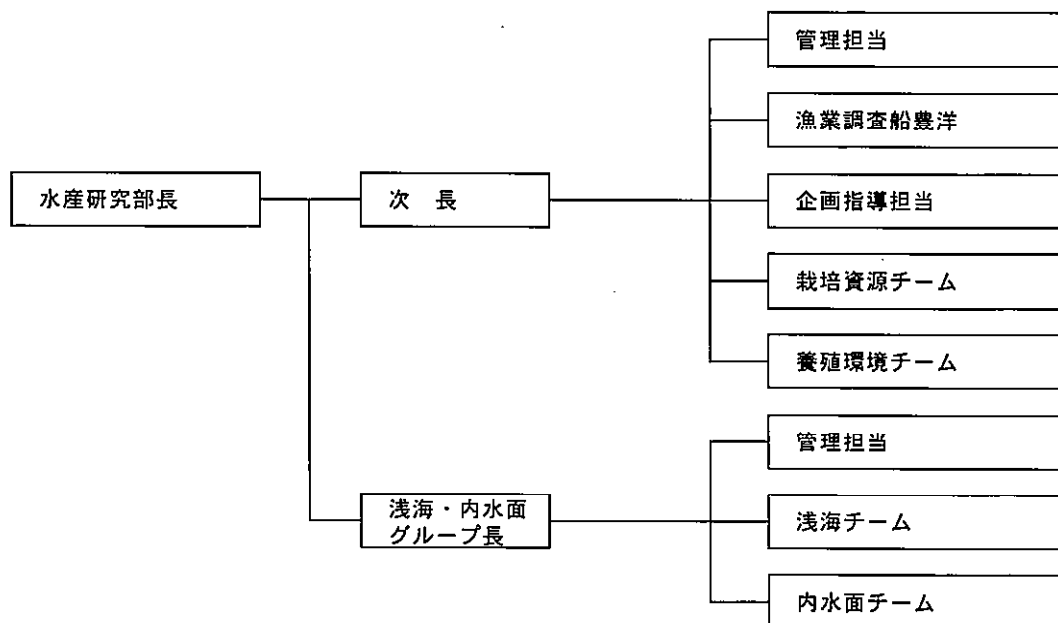
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
原木移動によるほだ木管理技術の向上	ほだ木の水分管理技術の普及および伏せ込み環境整備を指導することで、単収の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内6箇所の伏せ込み地で環境及びほだ化調査を行い、結果の分析やとりまとめを行う。</li> <li>・水分管理実施者を増やすため、源兵衛塾生を重点指導対象にする。</li> </ul>

Ⅱ－8 水産研究部（浅海・内水面グループ含む）

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織		職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
			事務	技術						
水産研究部	(上浦)	部長		1					1	海事職員7名
		次長	1						1	
		管理担当	2	7					9	
		企画指導担当		2					2	
		栽培資源チーム		7					7	
	養殖環境チーム		7					7		
	浅海・内水面グループ	グループ長		1					1	
	管理担当	1						1		
	浅海チーム		8					8		
	内水面チーム		3					3		
計			4	36	0	0	0	0	40	

(3) 業務

- ① 漁業の調査研究に関すること
- ② 漁業の生産及び技術指導に関すること
- ③ 水産動植物の増養殖に関すること
- ④ 漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤ 水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥ 水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦ 漁場環境保全・赤潮防止技術に関すること
- ⑧ その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題(1/2)

水産研究部所管分

水産研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 複合養殖に向けたヒラマサ種苗生産技術開発	栽培資源		H25~30	県単(令達)
・ 養殖生産の低コスト化・成長制御				
1) ヒラメ陸上養殖生産振興事業(LEED)	養殖環境		H29~31	
・ 養殖手法・施設の改善			H30該当無し	
・ 流通改善・輸出促進支援研究			H30該当無し	
2 ブランド化のための技術開発				
・ ヒラメの高水温耐性品種の作出(II期)			H30該当無し	
・ 養殖生産物の品質改善				
1) 高品質かぼす養殖魚創出事業	養殖環境	高知大学、別府大学、大分	H30~32	県単
・ 生産物の品質評価技術確立			H30該当無し	
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ プリ種苗生産技術開発	栽培資源		H28~30	県単(令達)
・ マグロ種苗生産技術開発			H30該当無し	
・ 新規養殖対象種の種苗生産と養殖技術の開発			H30該当無し	
・ 養殖魚の抗病性強化法・新規ワクチン開発				
1) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究				
(1) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究	養殖環境	九州大学	H29~31	県単
(2) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究(粘液胞子虫対策)	養殖環境		H29~31	諸経費委託
2) ヒラメ陸上養殖生産振興事業(クドア)	養殖環境		H29~31	県単(令達)
3) 水産資源回復強化事業(種苗検査)	養殖環境		H25~	県単(令達)
4) プリ類養殖業成長産業化促進事業(輸出プリ生産手法)	養殖環境		H30	県単(令達)
5) 浅海養殖推進事業(クルマエビのPAV対策)	養殖環境	増養研、浅海T	H30	県単(令達)
・ 養殖魚の寄生虫防除法開発				
1) 安心安全で環境に優しい養殖推進事業(はだむし対策)	養殖環境	海洋大	H19~	
・ 鮮度保持技術開発			H30該当無し	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 資源に関する基礎調査(モニタリング調査)				
1) 資源評価関係調査	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	H12~	委託
2) 資源・漁獲情報ネットワークの構築	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	H30~33	委託
・ 豊予海峡周辺海域におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究	栽培資源		H29~	県単
・ タチウオ資源回復推進に関する研究	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	H26~	県単(令達)
・ 釣り漁業における新たな漁法の開発			H30該当無し	
・ アオリイカの資源生態研究				
1) 資源管理関係事業(モイカ)	栽培資源		H28~30	国庫補助
・ ハモの資源生態研究				
1) 戦略魚種ハモ資源管理対策事業	栽培資源		H28~30	県単(令達)
・ プリの資源生態研究			H30該当無し	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 磯焼け対策に関する技術開発(モニタリング調査)	栽培資源		H16~	県単
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発				
1) 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発				
(1) 赤潮防除・被害軽減手法の開発	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H30~34	諸経費委託
2) 麻痺性貝毒の危機分析法の高度化およびスクリーニング法の開発	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H29~31	諸経費委託
3) ICTの活用と農水連携による赤潮対策技術の開発	養殖環境		H30~32	県単(令達)
4) 低水温期発生型赤潮対策強化事業	養殖環境		H28~30	県単(令達)
5) 漁場環境保全推進事業(赤潮・貝毒発生監視)	養殖環境			県単(令達)
・ 無給餌養殖・水産植物利用の推進			H30該当無し	
・ 環境保全に関する研究			H30該当無し	
・ 未利用水産物の有効利用研究			H30該当無し	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	栽培資源		H26~	県単(令達)
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供(情報提供事業)	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	長期	県単委託
・ 持続的養殖生産確保推進事業(海面防疫対策)(指導事業)	養殖環境		H12~	国庫補助
・ 養殖漁場の適正利用推進調査(モニタリング事業)				
1) 養殖漁場の適正利用推進調査(モニタリング事業)	養殖環境		H12~	県単(令達)
2) 浅海養殖推進事業(クルマエビ環境調査)	養殖環境		H30~34	県単(令達)
・ 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業(赤潮モニタリング)	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H30~34	諸経費委託
・ 水産加工品等高度利用化指導(指導事業)	養殖環境		S61~	県単(令達)

2. 試験研究課題(2/2)

水産研究部 浅海・内水面グループ所管分

水産研究部 浅海・内水面グループ

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1中課題 ・研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 海藻(ヒジキ、クロメ、ワカメ等)の新たな養殖技術開発				
1) 人工種苗ロープの開発によるヒジキ養殖技術の確立	浅海		H30~32	県単
・ クルマエビ養殖場を利用したアサリ養殖				
1) クルマエビ養殖池でのアサリ生産システムの開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構	H28~30	委託
2 ブランド化のための技術開発				
・ 養殖生産物の品質改善				
1) おおいた農産品を利用して抗病性を高める飼料開発	内水面		H30	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ カレイ類の生活史循環とその阻害要因の解明	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H25~30	委託
・ ナマコおよびアサリ等二枚貝の種苗生産技術開発				
1) 高級二枚貝タイラギの種苗生産・増養殖技術の開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H27~32	県単 委託
・ 新規養殖種及び増養殖手法の探索				
1) キンハタ種苗生産技術の開発	浅海		H30~	県単
・ 海藻類、カキ類、エビ類の種苗生産技術及び養殖技術の研修・指導				
1) クロメ養殖推進事業	浅海		H29~	県単
2) マガキ養殖システムの確立	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H30~32	委託
・ 内水面における魚病診断及び魚病対策の研究	内水面	養殖環境	H12~	国庫補助
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 二枚貝の資源動向の把握および回復施策の検討				
1) 地域重要魚貝類の資源動向及び回復施策に関する研究	浅海		長期	県単
・ ヒジキ資源増殖技術の開発	浅海		H29~31	県単
・ 資源に関する基礎調査				
1) 資源管理関係事業	浅海		-	県単
2) 資源評価関係調査	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H12~	委託
3) 資源・漁獲情報ネットワークの構築	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H30~33	
・ ハモの資源生態研究				
1) 戦略魚種ハモ資源管理対策事業	浅海		H28~30	県単
・ ガザミの資源生態研究				
1) 資源管理強化拡大対策事業(ガザミ等)	浅海		H28~	国庫補助
・ ヨシエビ、シャコ、カレイ類等の資源動向調査	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	-	委託
・ 資源保護のための漁具改良			H30該当無し	
・ 河川ごとの漁場評価による効果的な天然アユ増殖技術の開発			H30該当無し	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ アサリ天然稚貝の利用と資源回復推進に関する研究				
1) 母貝としての天然稚貝の有効活用・養殖拡大の実証	浅海		H30~32	県単
・ 海域の栄養塩等と生物生産に関する研究			H30該当無し	
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	-	県単 委託
・ 水産生物を利用した環境改善技術の開発				
1) ナマコの放流技術の向上と環境浄化機能の現場検証	浅海		H29~31	県単
・ 有害生物被害対策				
1) 外来魚・カワウ等による被害被害軽減対策指導	内水面		長期	県単
・ 陸封アユ有効利用手法の開発				
1) 三隈川水系におけるアユの生息環境の把握と陸封アユ有効利用手法の開発	内水面		H28~30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 豊前海アサリ資源量調査				
1) ナルトビエイ出現調査	浅海		-	委託
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	浅海		-	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供(ノリ養殖指導、情報提供)	浅海		長期	県単
・ 資源・環境に関する情報の提供(浅海定線調査)	浅海	(国研)水産研究・教育機構、関係県	長期	県単
・ 天然アユ・ウナギ、イワメ及び在来アマガシ生息量のモニタリング				
1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査(アユ等)	内水面		H21~	県単
2) 海域でのうなぎ生息調査事業	内水面	(国研)水産研究・教育機構	H28~30	繰入金
・ 河川環境モニタリング				
1) 漁場環境保全推進事業(内水面)	内水面		H22~	県単
・ 持続的養殖生産確保推進事業(内水面防疫対策)(指導事業)				
1) 魚病診断と対策指導	内水面	養殖環境	H12~	県単

## 3. 研究成果の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアクア・ニュースNo.47	H30.7.31	16	25
おおいたアクア・ニュースNo.48	H31.1.17	12	25

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
長瀬和也, 福田 稔	大分県産マダイから得たタイノエ <i>Ceratomyxa verrucosa</i> (等脚目ウオノエ科) とタイノエに関する文献追補	<i>Nature of Kagoshima</i>	45	15-19
T. Matsuyama, Y. Fukuda, T. Takano, T. Sakai and C. Nakayasu	Antibody-mediated bacterial killing of <i>Ichthyobacterium serioliticida</i> in Japanese amberjack	<i>Veterinary Immunology and Immunopathology</i>	203	73-77
木越 仁和	養殖カンパチの役割 ～産地、疾病対策、人工種苗～	養殖ビジネス	55 (10)	13-14

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30. 8. 21	豊後水道研究会	中尾拓貴	大分県沿岸におけるクロロフィル、栄養塩等の季節・経年変化
H30. 8. 21	豊後水道研究会	竹尻浩平	豊後水道西部における水温などの長期変動について
H30. 9. 16	日本水産学会秋季大会	吉田光男, 島崎洋平, 井口大輝, 太竹園生, 本田清一郎, 岡田靖彦, 大嶋雄治	光学式有害プランクトン検出センサーによる現場モニタリングの有効性評価
H30. 10. 17	第18回シャットネラ等赤潮対策推進協議会	井口 大輝	改良マグネシウム製剤の有害プランクトンへの駆除効果
H30. 12. 2	薬剤耐性対策の今を知る会～世界の動き, 日本の動き～	福田 稔	大分県の魚類養殖における感染症対策
H31. 1. 19	赤潮の予測に向けた観測とモデリング	紫加田知幸, 鬼塚剛, 北辻さほ, 中山奈津子, 湯浅光貴, 西山佳孝, 井口大輝, 宮村和良	<i>Karenia mikimotoi</i> 赤潮の衰退要因
H30. 3. 2	日本魚病学会春季大会	C. Sakseepipadl, R. Nozakil, Y. Fukuda, H. Kawakami, I. Hirono and H. Kondo	Genotyping of Red Sea Bream Iridovirus-type Megalocytivirus in Japan
H30. 3. 15	日本寄生虫学会	小川和夫, 杉原志貴, 秋山孝介, 福田 稔, Daniel Grabner	ヒラマサに寄生する住血吸虫
H31. 3. 29	日本水産学会春季大会	吉田光男, 島崎洋平, 井口大輝, 中里礼大, 本田清一郎, 岡田靖彦, 大嶋雄治	光学式有害プランクトン検出センサーによる有害赤潮原因藻の存在量推定と現場モニタリング評価
H31. 3. 29	日本水産学会春季大会	北辻さほ, 井口大輝, 湯浅光貴, 市川隆祥, 川上恵, 紫加田知幸	過飽和酸素供給が有害赤潮プランクトンに及ぼす影響
H31. 3. 27	日本水産学会春季大会	山田英俊, 兼松正衛	1kL水槽を用いたアサリ成熟期幼生に対する低塩分飼育法の有効性の検証
H31. 3. 27	日本水産学会春季大会	松本才絵, 淡路雅彦, 金澤健, 木村聡一郎, 兼松正衛	高級二枚貝タイラギの先端的養殖技術の開発-10. 人工受精による稚貝生産-1
H31. 3. 27	日本水産学会春季大会	金澤健, 木村聡一郎, 松本才絵, 淡路雅彦, 伊藤篤, 兼松正衛	高級二枚貝タイラギの先端的養殖技術の開発-11. 人工受精による稚貝生産-2



(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成30年度第1回 農林水産研究指導センター研究状況報告会 (別府湾のシラス予報)	H30.9.20	県庁舎本館 91会議室	1	58
平成30年度第2回 農林水産研究指導センター研究状況報告会 (天然ヒジキの増殖マニュアルについて)	H30.12.18	県庁舎本館 91会議室	1	63
平成30年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	H31.1.24~25	水産会館	11	60

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H30.4.23	かぼすヒラマサ生産研修会	臼杵市佐志生	6	大分県漁協
H30.4.24	かぼすヒラメ生産研修会	IF大分 下入津支店	15	大分県漁協
H30.4.27	漁業士底曳部会総会	日出町	19	
H30.5.20	大分海区漁業調整委員会	大分市	22	
H30.5.21	かぼすヒラマサ生産研修会	佐伯市蒲江丸市尾	5	大分県漁協
H30.5.25	佐伯湾 赤潮講習会	IF大分 佐伯支店	11	大分県漁協青年部
H30.5.31	かぼすヒラメ生産研修会	IF大分 下入津支店	15	大分県漁協
H30.6.8	魚病赤潮担当者会議	水産研究部	32	水産研究部養殖環境チーム
H30.6.14	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	7	大分県水産養殖協議会
H30.6.14	かぼすヒラマサ生産研修会	臼杵市佐志生	6	大分県漁協
H30.6.15	臼杵・津久見 赤潮研修会	臼杵土木事務所	17	中部振興局
H30.6.21	かぼすシマアジ生産研修会	IF大分 下入津支店	4	大分県漁協
H30.6.28	平成30年度マダコ養殖生産者連絡会	水産研究部	31	水産振興課
H30.7.6	魚類養殖講習会	IF大分佐伯支店	78	大分県水産養殖協議会
H30.7.10	大分県漁業学校 (魚病学、魚病診断技術)	水産研究部	2	水産振興課
H30.7.12	低水温期発生型赤潮対策事業現地説明会	IF大分 名護屋支店	16	漁業管理課
H30.7.13	大分県漁業学校 (魚類養殖学、現場研修)	水産研究部	2	水産振興課
H30.7.30	豊後別府湾ちりめん協議会講習会	大分県漁協別府支店	28	豊後別府湾ちりめん協議会
H30.8.30	瀬戸内ブロック漁業士研修会	別府亀の井ホテル	47	水産振興課(幹事県:大分)
H30.9.4	かぼすヒラマサ生産研修会	IF大分上入津支店	6	大分県漁協
H30.9.12	大分県漁業学校 (漁場環境調査・赤潮診断技術)	水産研究部	2	水産振興課
H30.9.15	別府湾漁業青年協議会研修会	別府市	25	
H30.9.14	大分県漁業学校	豊後高田市	3	引率普及員1名含む
H30.9.18	大分県漁協青年部杵築支部研修会 (資源管理)	水産研究部	8	大分県漁協青年部杵築支部
H30.9.20	バツリ協議会研修会(アオリイカ生態)	津久見市	9	バツリ協議会
H30.10.16	大分県漁業学校	豊後高田市	5	引率者2名含む
H30.10.18	無垢島漁場を考える会研修会(クロメ生態)	大分県漁協津久見支店	10	無垢島漁場を考える会
H30.11.9	姫島潜水組合研修会(アワビ資源管理)	水産研究部	7	姫島潜水組合
H30.12.3	かぼすヒラマサ生産研修会	IF大分上入津支店	7	大分県漁協
H30.12.11	内水面魚病講習会	別府豊泉荘	31	浅海・内水面グループ
H31.1.16	大分県漁業学校	豊後高田市	5	引率者2名含む
H31.1.16	青年漁業士育成講座	豊後高田市	3	引率者2名含む
H31.1.26	ハモ漁業者検討会	大分市	27	
H31.2.2	周防灘小型底びき網漁業者検討会	宇佐市	18	
H31.2.2	豊前海アサリ漁業者検討会	宇佐市	17	
H31.2.9	豊前海漁業青年協議会研修会	宇佐市	25	
H31.3.5	赤潮研修会(上入津)	IF大分上入津支店	11	大分県漁協上入津支店
H31.3.9	大分県タチウオ漁業者検討会	大分市	20	大分県漁協
H31.3.12	地域振興のための資源培養技術の高度化に関する共同研究報告会	姫島村	28	
H31.3.15	養殖技術・経営向上対策講習会	IF大分佐伯支店	53	大分県水産養殖協議会青年部会
H31.3.15	漁業士連絡協議会魚類養殖部会総会	IF大分佐伯支店	7	大分県漁業士連絡協議会魚類養殖部会
H31.3.15	平成30年度賛助会員懇談会	IF大分佐伯支店	17	大分県水産養殖協議会
H31.3.16	ハモ漁業者検討会	大分市	17	
H31.3.19	養殖クロマダコ未利用部位加工利用研修会	佐伯市	9	大分県水産加工振興協議会
H31.3.20	佐賀関一本釣り白津まき網漁業との調整会議	臼杵市	22	漁業管理課
H31.3.23	県漁協宇佐支店小型底曳網協議会研修会	宇佐市	37	
H31.3.28	大分県資源管理協議会臨時総会	大分市	15	
H31.3.30	ヒジキ養殖先進事例研修会	大分市	10	米水津漁業後継者協議会

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ  
該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	8	18
団体等職員	0	0
普及指導員	0	0
学生	1	1 ※大学生
児童・生徒	3	36 ※小中高校生
海外研修者	1	2
その他	5	50
総計	18	107

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「かぼすプリ」生産体制の拡充	<p>・「かぼすプリ」は柑橘系養殖魚のブランド魚として、県内外に知られ需要も急増している。今後の確固たるブランドの確立と、生産体制の拡充のため、以下の検討を行う。</p> <p>・柑橘系養殖魚は他県でも類似品が出始めている。ブランド化・他県との差別化をより明確にするため、カボス投与の効果の数値化を進める。</p> <p>・市場から、通常よりも早期(夏季)のかぼすプリ出荷の要望が出ており、その試験を行う。</p>	<p>①カボス投与効果の数値化 ・かぼすプリ臭気成分分析について別府大学と5月に協議して6月に予備試験を実施した。7月に赤潮被害で試験魚飼育を中断したが8月に再開し、その後11月まで試験を実施した。 果皮粉末のリモネン量は前年比329%に上昇し、香り成分分析の結果、プリの臭み成分の減少が確認できた。</p> <p>②生産体制の拡充 ・生産体制の確認を行ったが、6月の早期出荷は中止となった。8月に関係IFと生産者4名でかぼすプリ販売促進協議会を開催し、生産期間中に生産・流通指導を実施し、10月の出荷前品質検査に合格した。</p> <p>平成30年「かぼすプリ」生産量は、3月末現在で、650tと推定されている(漁業管理課データ)。</p>
ヒジキ増養殖の普及	<p>ヒジキ採取量は増加傾向にあるが、過剰漁獲による資源の減少が懸念される。そこで、漁業者が現場でできる増養殖手法を確立し、その普及を図る。</p>	<p>・主な地区について建材ブロックを設置し、経過観察を実施した。 国見では2月の調査で目視によりブロックの半数にヒジキ付着を確認した。東部地区では安岐でヒジキの繁茂がみられた一方、くにさき地区では9月時点でヒジキ付着がなかったため、設置水深の検討が必要。 臼杵地区では、5月に設置した建材ブロックを観察したところ8月に幼芽を確認した。 米水津は5月に建材ブロックと中古ブロックを設置したが、9月に台風等の波浪の影響でブロックが飛散していた。3月の調査では、ヒジキ着底数は0.24個体/ブロックと低かった。</p> <p>今年度の結果をふまえて、ブロックの設置方法の検討を現地指導を引き続き行う。</p>

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
農林水産研究指導センター(本部)	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦3456	0972-82-2837	0972-82-5322
ナシ・ブドウチーム(※1)	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田宇佐寺原35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
浅海・内水面グループ(※2)	879-0608	豊後高田市呉崎3386	0978-22-2405	0978-24-3061
内水面チーム(※3)	872-0504	宇佐市安心院町荘42	0978-44-0329	0978-34-4050

(※1:平成31年(2019年)4月26日より「落葉果樹チーム」に改称)

(※2:平成31年(2019年)4月26日より「北部水産グループ」に改称)

(※3:平成31年(2019年)3月31日施設廃止、4月25日組織廃止)

平成30年度

(2018年度)

大分県農林水産研究指導センター業務年報

令和元年(2019年)7月発行

編集  
発行

大分県農林水産研究指導センター

〒879-7111

豊後大野市三重町赤嶺2328-8

TEL 0974-28-2074

FAX 0974-28-2052